

資料編

1	策定の経過	108
2	協議体制	109
3	市民参加	112
4	用語解説	148

1 策定の経過

年	月 日	内 容
令和 2 (2020)年	2月 5日	第 1 回庁内検討委員会
	2月 14日	第 1 回策定委員会
	2月 26日 ~ 3月 19日	市民アンケート調査
	6月 25日	第 2 回庁内検討委員会
	7月 9日	第 2 回策定委員会
	8月 1日	第 1 回市民協議会
	8月 25日	第 3 回庁内検討委員会
	9月 12日	第 2 回市民協議会
	9月 24日	第 3 回策定委員会
	9月 26日	第 3 回市民協議会
	10月 29日	第 4 回庁内検討委員会
	11月 20日	第 4 回策定委員会
	11月 24日 ~ 12月 3日	中学生アンケート調査
	12月 22日	第 5 回庁内検討委員会
令和 3 (2021)年	1月 12日	第 5 回策定委員会
	2月 16日 ~ 3月 18日	パブリックコメント
	2月 27日、2月 28日 3月 2日、3月 13日	市民説明会
	3月 4日	市議会全員協議会
	3月 11日	都市計画審議会
	3月 29日	中学生検討会
	4月 22日	第 6 回庁内検討委員会
	6月 20日	第 6 回策定委員会
	6月 26日	第 4 回市民協議会・第 5 回市民協議会
	6月 27日	第 6 回市民協議会
	8月 27日	第 7 回庁内検討委員会
	10月 9日	第 7 回策定委員会
	11月 5日	第 8 回庁内検討委員会
	11月 24日	第 8 回策定委員会
	12月 15日 ~ 1月 21日	パブリックコメント
	12月 21日	市議会全員協議会
	12月 22日	市民説明会、まちづくりサロン・パネル展示
	12月 23日	まちづくりサロン・パネル展示
	12月 24日	都市計画審議会
12月 25日、12月 26日	市民説明会、まちづくりサロン・パネル展示	
令和 4 (2022)年	3月 25日	第 9 回庁内検討委員会
	4月 16日	第 9 回策定委員会
	5月 20日	第 10 回庁内検討委員会
	6月 10日	第 10 回策定委員会
	6月 27日	第 11 回庁内検討委員会
	7月 13日	第 11 回策定委員会
	8月 12日	都市計画審議会

2 協議体制

(1) 委員名簿

① 小金井市都市計画マスタープラン策定委員会名簿

番 号	委員氏名	備 考
委員長	野 澤 康	工学院大学 教授
副委員長	高 見 公 雄	法 政 大 学 教 授
委 員	雨 宮 安 雄	福祉団体の代表
	市 古 太 郎	東京都立大学 教授
	清 水 正	公 募 市 民
	高 橋 金 一	農業委員会の代表
	谷 滋	公 募 市 民
	中 里 成 子	公 募 市 民
	永 田 尚 人	公 募 市 民
	平 尾 あき子	公 募 市 民
	三 笠 俊 彦	商 工 会 の 代 表
	水 庭 千鶴子	東京農業大学 教授
	安 田 桂 子(※1)	環境団体の代表
	山 本 俊 明(※2)	環境団体の代表
	若 藤 実	市 職 員

(※1) 令和2(2020)年12月まで

(※2) 令和3(2021)年1月から

② 小金井市都市計画マスタープラン庁内検討委員会名簿

委員長	都市整備部長	委 員	地域福祉課長
副委員長	都市計画課長		まちづくり推進課長
委 員	企画政策課長		道路管理課長
	地域安全課長		交通対策課長
	経済課長		区画整理課長
	環境政策課長		生涯学習課長
	ごみ対策課長		農業委員会事務局長

(2) 策定委員会・庁内検討委員会の経過

	主な内容
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・市長挨拶、依頼状交付、委員紹介、委員長・副委員長の選出、協議依頼 ・都市計画マスタープランの見直しについて ・都市計画マスタープラン見直しのための市民アンケートについて
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・小金井市を取り巻く現況 ・分野別の成果と次期都市計画マスタープランの方向性 ・都市計画マスタープラン見直しに向けた論点の整理 ・市民協議会、中学生検討会について ■その他 ・都市計画マスタープラン見直しのための市民アンケート結果について ・今後のスケジュールについて
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・全体構想について ・まちづくりのテーマ・基本目標の考え方について ・将来都市構造について ■その他 ・市民協議会の結果について
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・分野別方針について ・将来都市構造図・分野別方針図について ・中学生検討会について ■その他 ・市民協議会の結果について
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・都市計画マスタープラン中間報告案について ・まちづくりサロン、市民説明会、パブリックコメントについて ■その他 ・今後のスケジュールについて
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・都市計画マスタープラン地域別構想案について ・市民協議会の開催について ■その他 ・都市計画マスタープラン中間報告案パブリックコメントに対する意見及び検討結果について ・市民説明会、市議会全員協議会、都市計画審議会の主な意見について ・中学生検討会の結果について
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ■議題 ・都市計画マスタープラン素案について ■その他 ・市民協議会の結果について

	主な内容
第8回	<p>■議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン素案について ・市民説明会、まちづくりサロン・パネル展示、パブリックコメントについて
第9回	<p>■議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン案について <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン素案パブリックコメントに対する意見及び検討結果について ・市民説明会、まちづくりサロン・パネル展示、都市計画審議会、市議会全員協議会の主な意見について ・東京都への意見照会に対する市の対応方針について
第10回	<p>■議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン案について <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン素案及び中間報告案の意見の訂正について
第11回	<p>■議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン案の報告について

(3) 都市計画審議会の経過

年	月日	内容
令和2 (2020)年	3月11日	令和2(2020)年度第3回都市計画審議会 ・小金井市都市計画マスタープラン中間報告案について(報告)
令和3 (2021)年	12月24日	令和3(2021)年度第2回都市計画審議会 ・小金井市都市計画マスタープラン素案について(報告)
令和4 (2022)年	8月12日	令和4(2022)年度第2回都市計画審議会 ・小金井市都市計画マスタープラン案について(諮問・答申)

3 市民参加

(1) 市民アンケート

① 調査概要

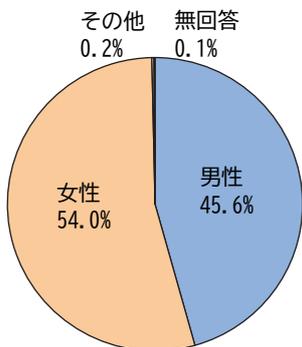
小金井市のまちのあり方及びこれからのまちづくりについて、市民の意向を把握するため実施しました。

実施時期	令和 2(2020)年 2 月 26 日 ~ 令和 2(2020)年 3 月 19 日
調査対象	令和 2(2020)年 2 月 1 日現在、満 18 歳以上の小金井市民から無作為に 3,000 人を抽出 ※ただし、外国人 80 人を含む（英語：43 人、中国語：34 人、韓国語：3 人）
調査方法	郵送配布・郵送回収方式（返信封筒同封）
回答数	有効回収数：903 件、回収率：30.1%
調査内容	【問 1】属性（性別、年齢、世帯構成、住まい、主な利用駅、日中の居場所）
	【問 2】小金井市での暮らしについて（居住年数、住み心地、今後の居留意向）
	【問 3】都市計画マスタープランについて（認知度、効果的な周知方法）
	【問 4】10 年前と現在の比較（土地利用、道路・交通、緑・環境、安全・安心、住環境）
	【問 5】分野ごとの重要度（土地利用、道路・交通、緑・環境、安全・安心、住環境）
	【問 6】分野ごとに望むこと（土地利用、道路・交通、緑・環境、安全・安心、住環境）
	【問 7】20 年後の小金井市の姿
	【問 8】まちづくりへの関わり
	【問 9】将来のまちのイメージ
	【問 10】自由意見

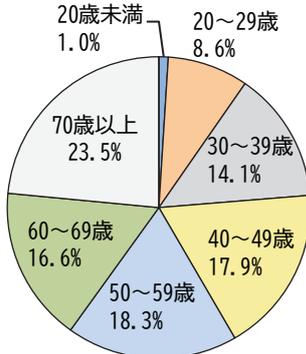
② 調査結果

【問1】回答者属性

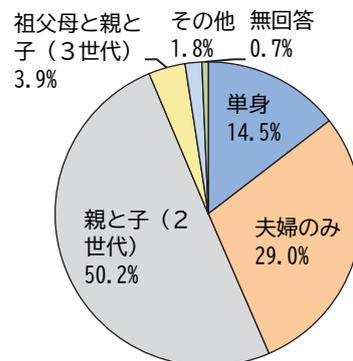
(1) 性別



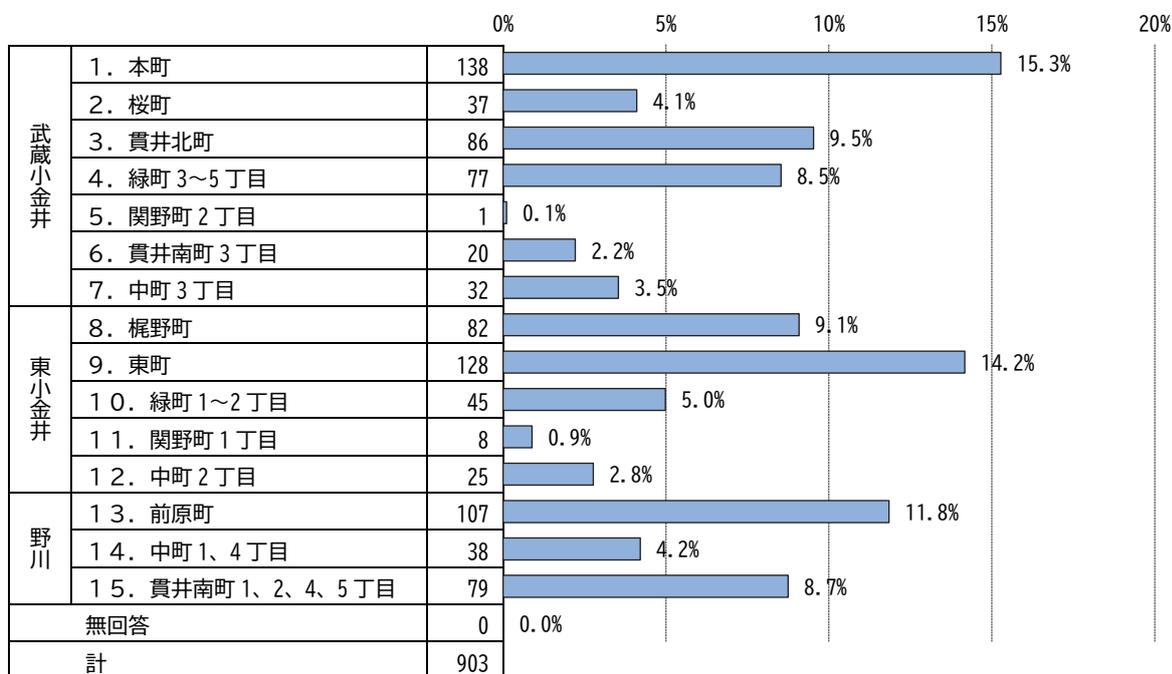
(2) 年齢



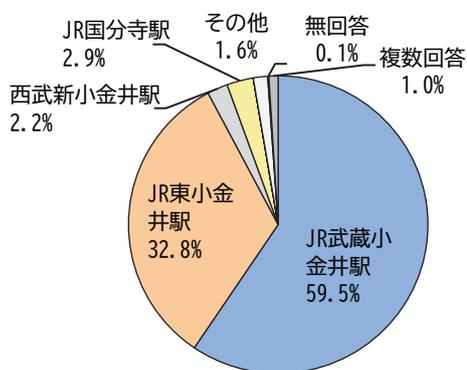
(3) 世帯構成



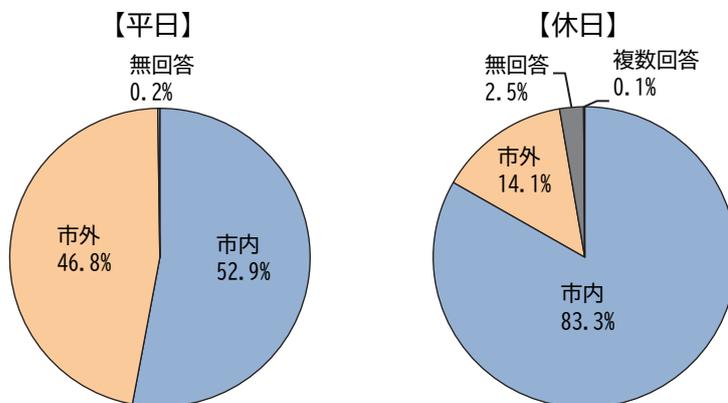
(4) 住まい



(5) 主な利用駅



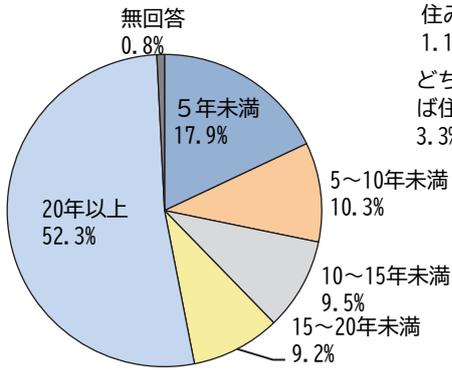
(6) 日中の居場所



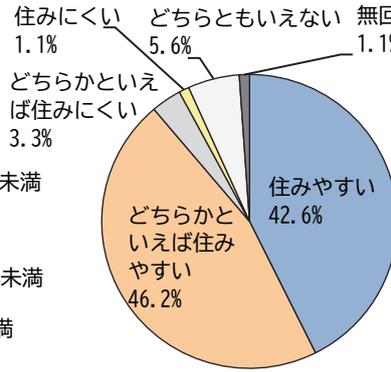
小金井市都市計画マスタープラン

【問 2】小金井での暮らし

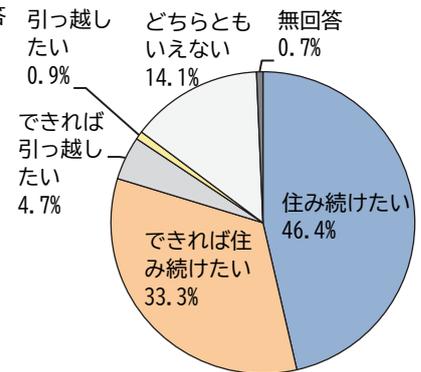
(1) 居住年数



(2) 住み心地

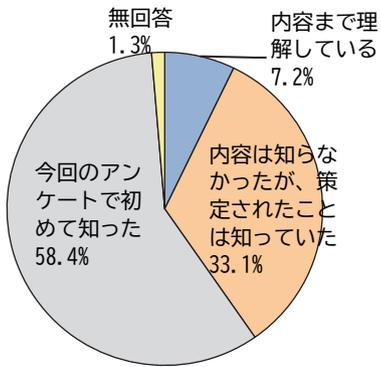


(3) 今後の居住以降

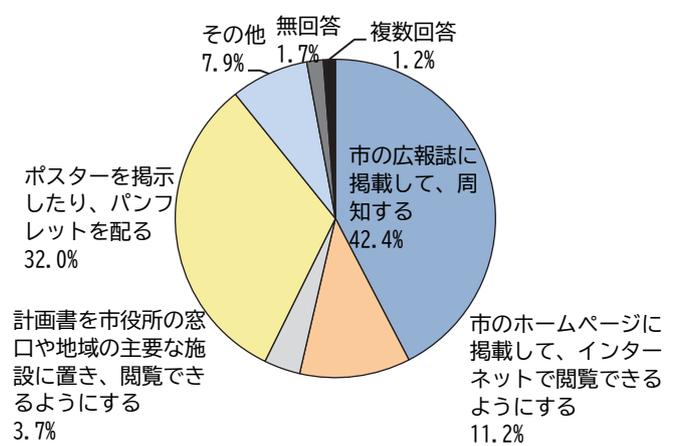


【問 3】都市計画マスタープランの認知度

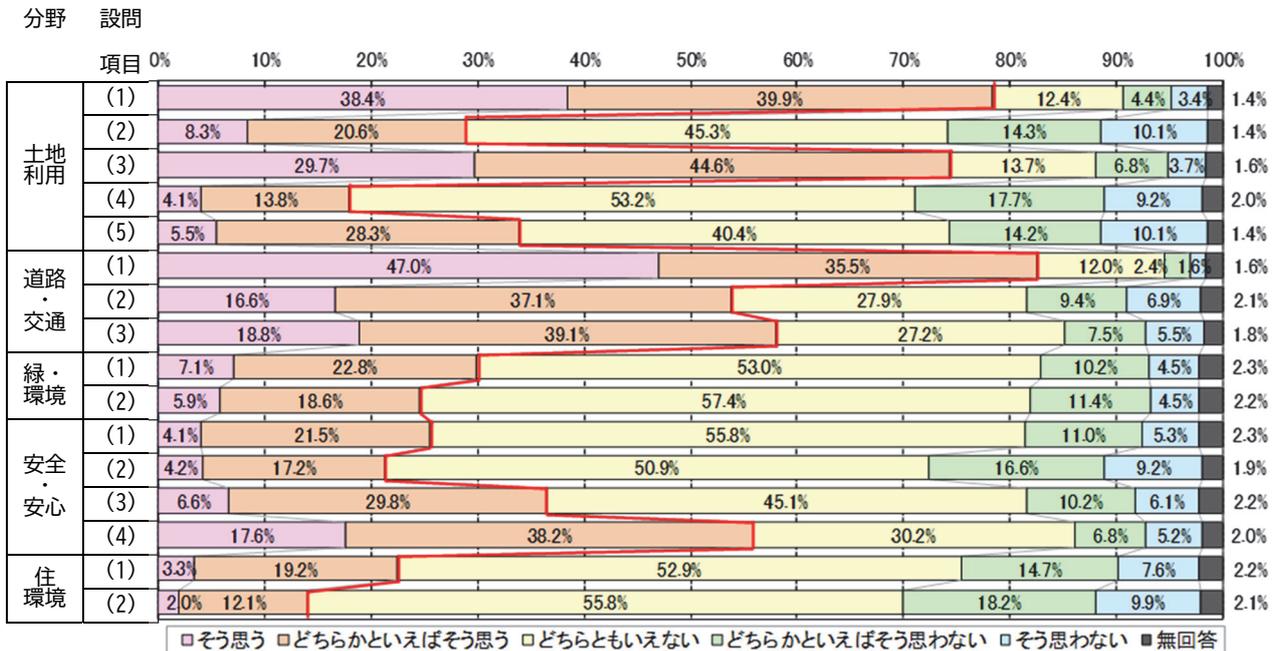
(1) 都市計画マスタープランの認知度



(2) 都市計画マスタープランの効果的な周知方法



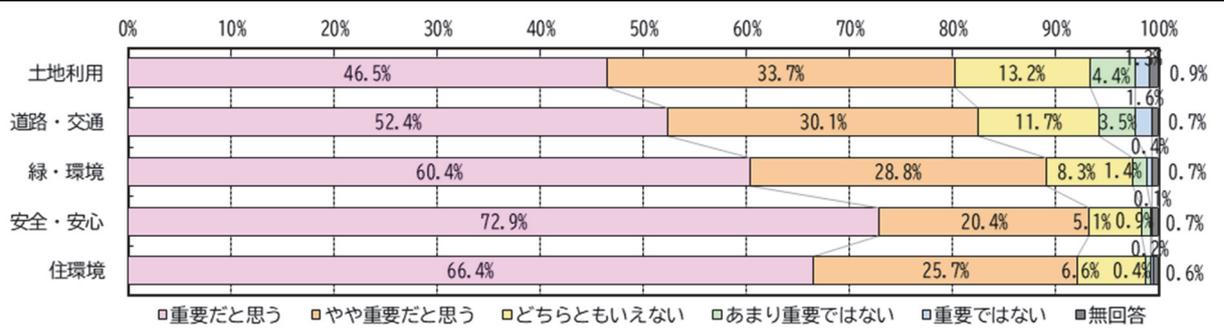
【問 4】平成22年(10年前)と現在の比較



分野	設問項目
土地利用	(1) 駅前(武蔵小金井駅・東小金井駅)において、商業施設やマンション建設などが進み、計画的なまちづくりが進んだ
	(2) 地域のコミュニティや交流の場が整備された
	(3) 駐輪場、レンタサイクル、店舗、保育施設など、JR中央本線高架下の利活用が進んだ
	(4) 大学や研究機関の立地をいかした企業、学校、市民、市の連携による拠点が整備された
	(5) 商店街活性化のイベント開催など、まちの情報を提供する機会が充実した
道路・交通	(1) JR中央本線の高架化に伴い、線路沿いの道路やJRを横断する南北方向の道路が整備された
	(2) 幹線道路において、歩道や自転車走行空間が整備された
	(3) 駅前(武蔵小金井駅・東小金井駅)広場の整備が進み、にぎわいや交流が生まれた
緑・環境	(1) 隣接都市との連携により、国分寺崖線(はげ)のみどりが守られ、緑化が進んだ
	(2) 公園の維持管理などにおける市民協働の取組が進んだ
安全・安心	(1) 延焼拡大を防ぐ幹線道路の整備や、安全な場所へ避難する道路や場所の整備が進んだ
	(2) 町会や自治会での自主的な防災訓練など地域防災活動が活発になった
	(3) 駅周辺や公共施設において、歩道のバリアフリー化や点字ブロックの設置などが進んだ
	(4) 安定的なごみ処理体制の確立に向けて、日野市、国分寺市との共同での可燃ごみ処理体制が構築された
住環境	(1) 屋上緑化、壁面緑化、雨水浸透ますなど、環境に配慮した建築物が普及した
	(2) 省エネ・再エネ機器などの導入などにより、地球温暖化対策が進んだ

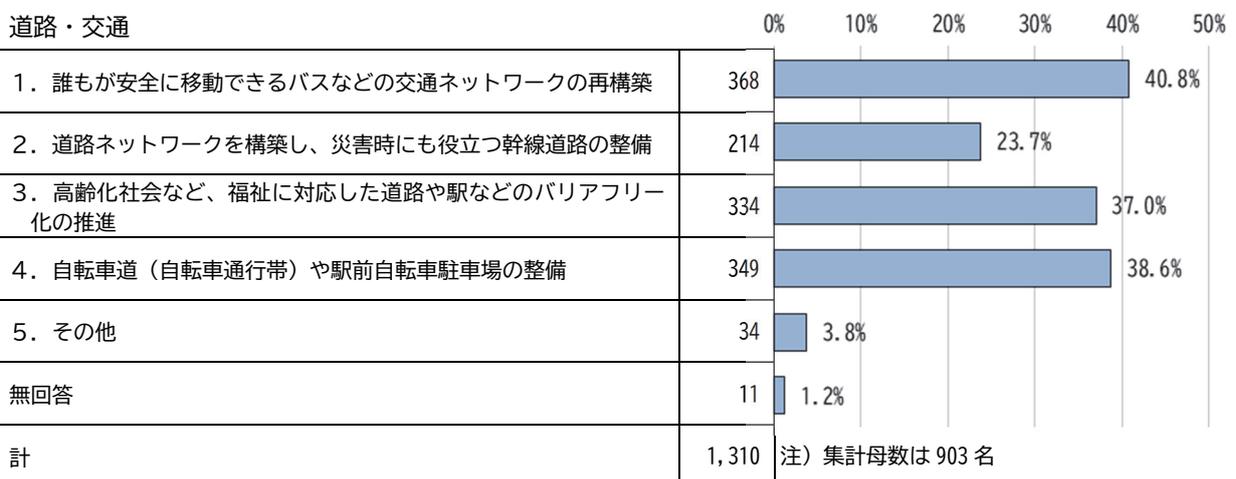
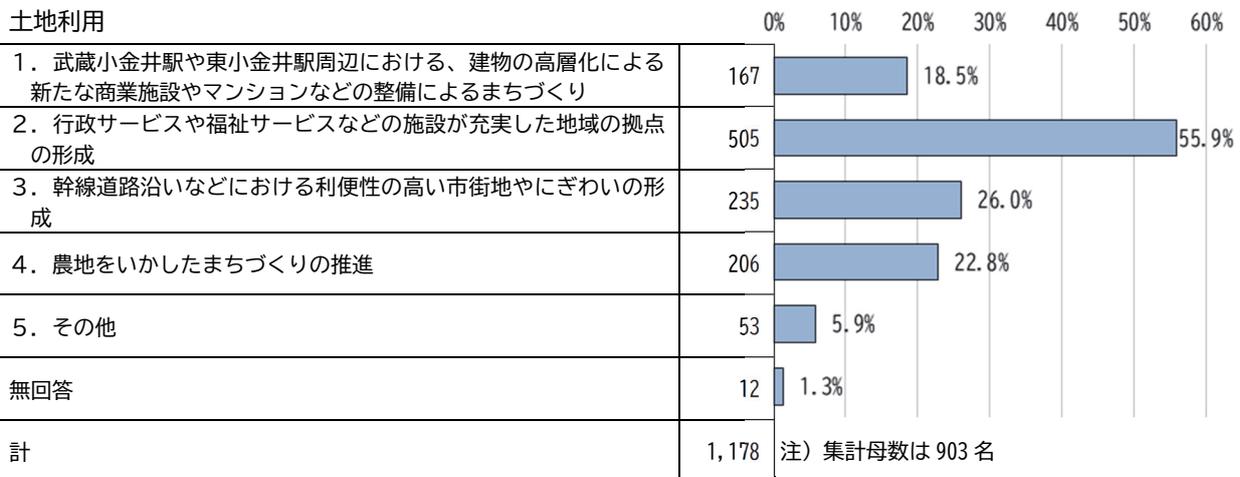
小金井市都市計画マスタープラン

【問5】分野ごとの重要度

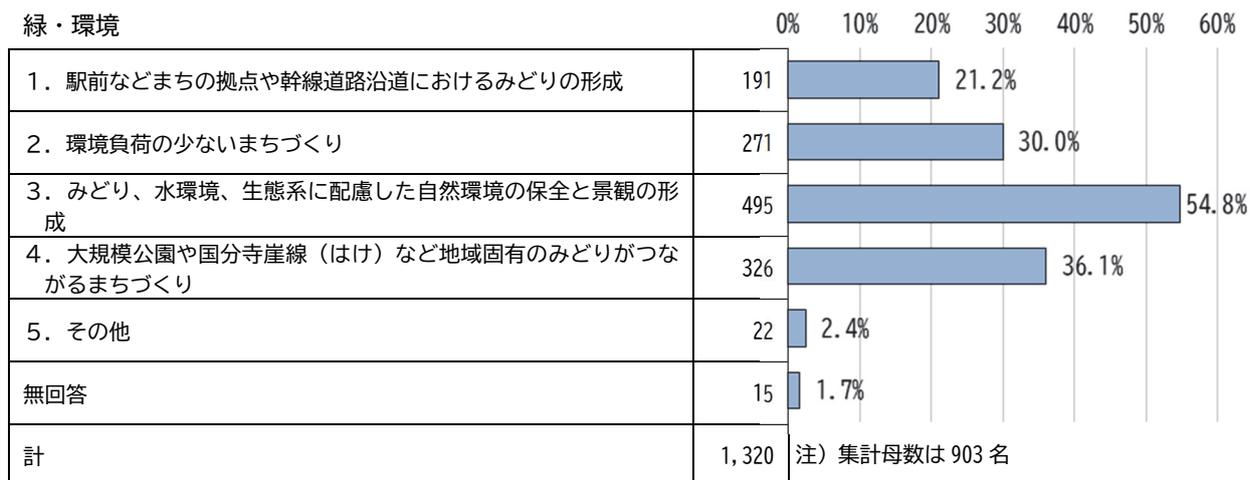


5分野以外に「今後のまちづくりにおいて重要と思う分野」	・ごみ関連施策 ・教育の観点 など	・公共施設の充実、有効活用
「土地利用」に関する意見	・武蔵小金井駅北口の再開発 ・高層マンション・商業施設の抑制 など	・小金井市らしいまちづくり、開発を希望
「道路・交通」に関する意見	・自転車関連施策 ・道路の整備・拡幅 など	・公共交通の充実
「緑・環境」に関する意見	・みどり、自然の保全・活用 ・公園の整備 など	・農地(生産緑地等)の保全
「安全・安心」に関する意見	・防災体制の強化 ・安全・安心に暮らせるまち(特に子ども・高齢者) など	・防災性の高いまちづくり
「住環境」に関する意見	・子育て世代への対応 ・高齢者が住みやすい環境・サービス など	・子どもが遊べる・暮らしやすいまち

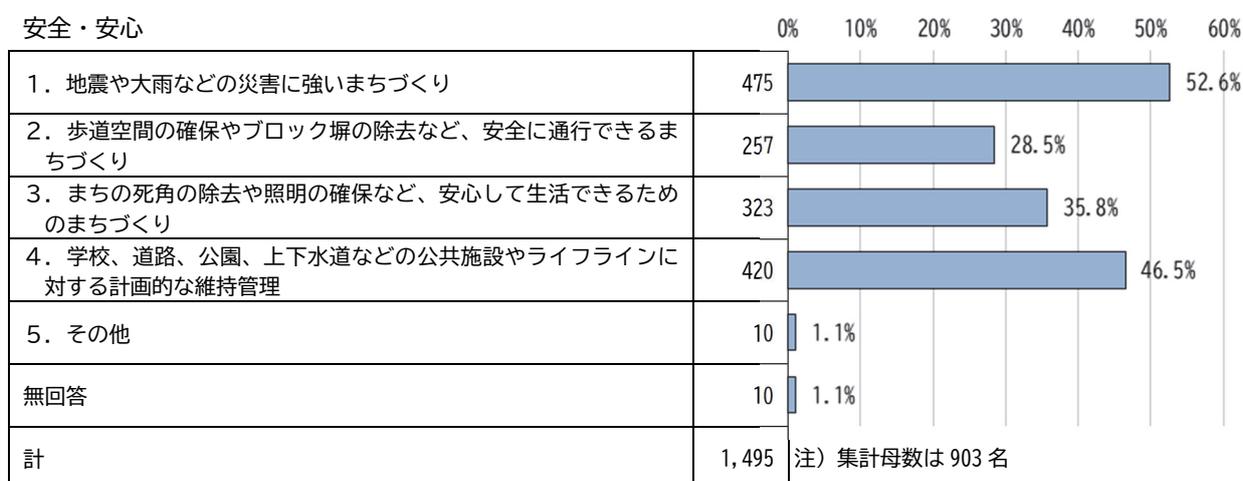
【問6】分野ごとに望むこと



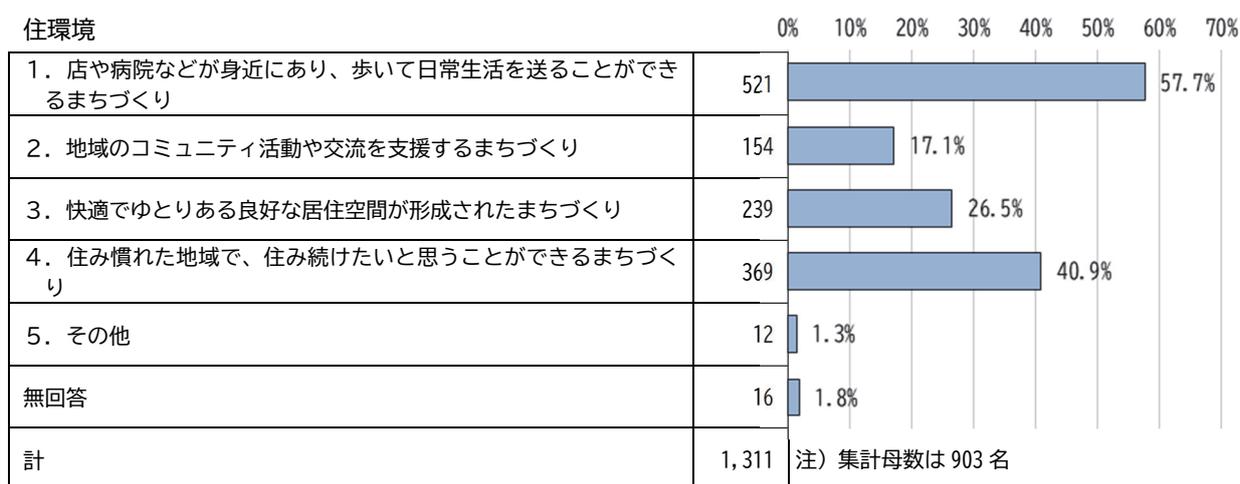
緑・環境



安全・安心

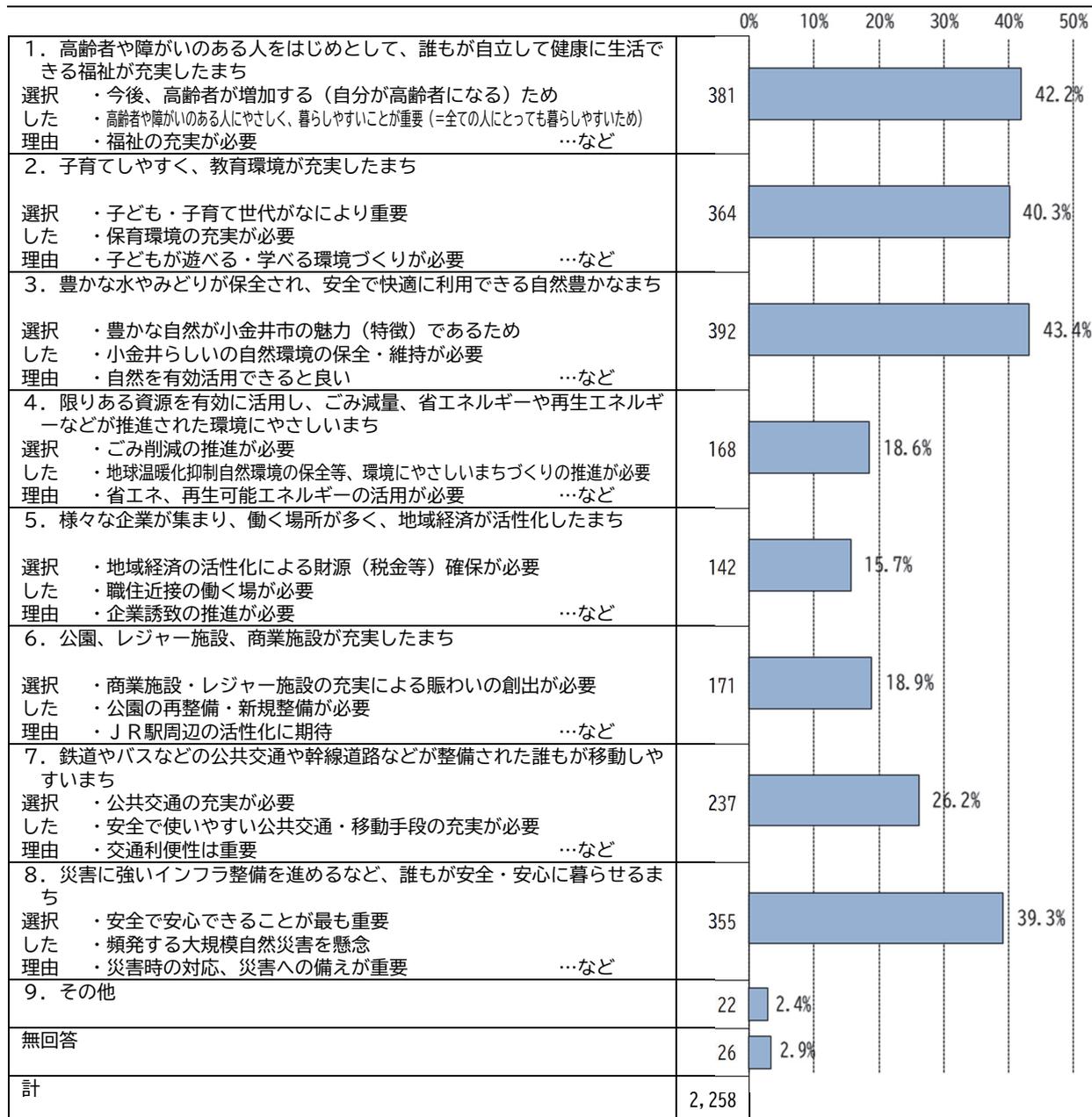


住環境

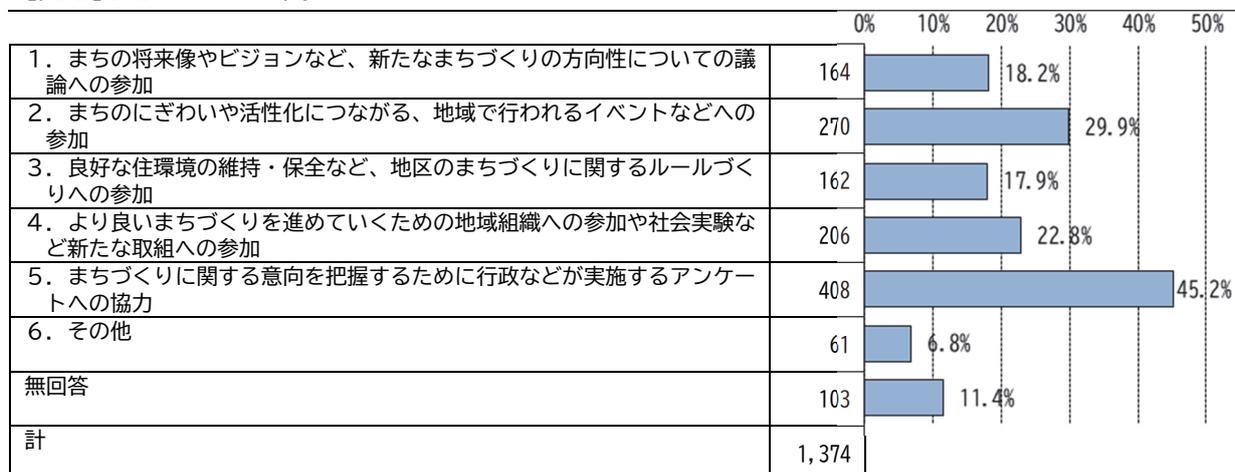


小金井市都市計画マスタープラン

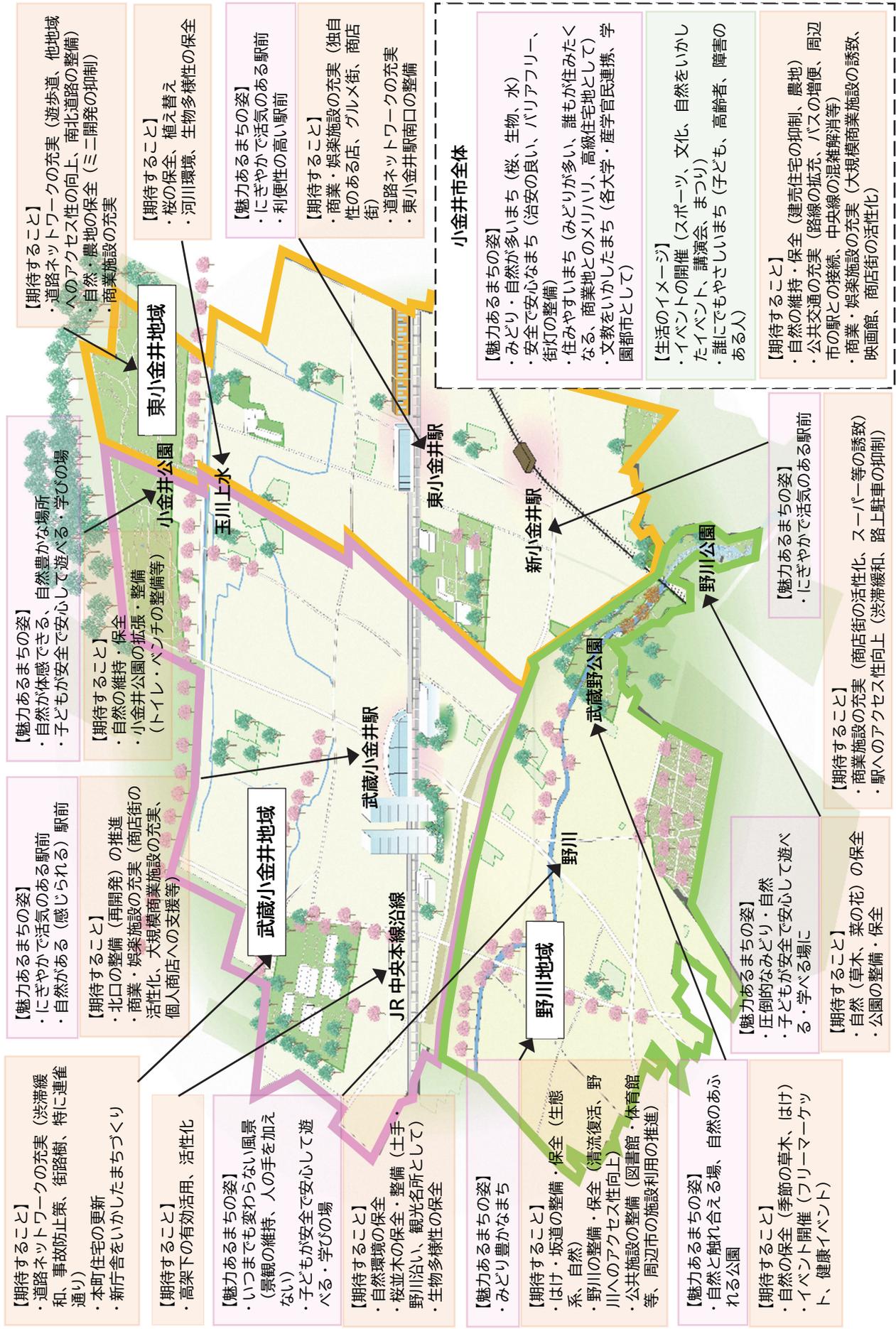
【問 7】20年後の小金井市の姿



【問 8】まちづくりへの関わり



【問9】採来のまちのイメージ



【期待すること】
 ・道路ネットワークの充実（遊歩道、他地域へのアクセス性の向上、南北道路の整備）
 ・自然・農地の保全（ミニ開発の抑制）
 ・商業施設の充実

【期待すること】
 ・桜の保全、植え替え
 ・河川環境、生物多様性の保全

【魅力あるまちの姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前
 ・利便性の高い駅前

【期待すること】
 ・商業・娯楽施設の充実（独自性のある店、グルメ街、商店街）
 ・道路ネットワークの充実
 ・東小金井駅南口の整備

小金井市全体

【魅力あるまちの姿】
 ・みどり・自然が多いまち（桜、生物、水）
 ・安全で安心なまち（治安の良い、バリアフリー、街灯の整備）
 ・住みやすいまち（みどりが多い、誰もが住みたくなる、商業地とのメリハリ、高級住宅地として）
 ・文教をいかしたまち（各大学・産学官民連携、学園都市として）

【生活のイメージ】
 ・イベントの開催（スポーツ、文化、自然をいかしたイベント、講演会、まつり）
 ・誰にでもやさしいまち（子ども、高齢者、障害のある人）

【期待すること】
 ・自然の維持・保全（建売住宅の抑制、農地）
 ・公共交通の充実（路線の拡充、バスの増便、周辺の駅との接続、中央線の混雑解消等）
 ・商業・娯楽施設の充実（大規模商業施設の誘致、映画館、商店街の活性化）

【魅力あるまちの姿】
 ・自然豊かな場所
 ・子どもが安全で安心して遊べる・学びの場

【期待すること】
 ・自然の維持・保全
 ・小金井公園の拡張・整備（トイレ・ベンチの整備等）

【魅力あるまちの姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前
 ・自然がある（感じられる）駅前

【期待すること】
 ・北口の整備（再開発）の推進
 ・商業・娯楽施設の充実（商店街の活性化、大規模商業施設の充実、個人商店への支援等）

【魅力あるまちの姿】
 ・圧倒的なみどり・自然
 ・子どもが安全で安心して遊べる・学べる場に

【期待すること】
 ・自然（草木、菜の花）の保全
 ・公園の整備・保全

【魅力あるまちの姿】
 ・にぎやかで活気のある駅前
 ・にぎやかで活気のある駅前

【期待すること】
 ・商業施設の充実（商店街の活性化、スーパー等の誘致）
 ・駅へのアクセス性向上（渋滞緩和、路上駐車抑制）

【魅力あるまちの姿】
 ・自然環境の保全
 ・桜並木の保全・整備（土手野川沿い、観光名所として）
 ・生物多様性の保全

【魅力あるまちの姿】
 ・いつまでも変わらない風景（景観の維持、人の手を加えない）
 ・子どもが安全で安心して遊べる・学びの場

【魅力あるまちの姿】
 ・はげ・坂道の整備・保全（生態系、自然）
 ・野川の整備・保全（清流復活、野川へのアクセス性向上）
 ・公共施設の整備（図書館・体育館等、周辺市の施設利用の推進）

【魅力あるまちの姿】
 ・自然と触れ合える場、自然のあふれる公園

【魅力あるまちの姿】
 ・自然の保全（季節の草木、はけ）
 ・イベント開催（フリーマーケット、健康イベント）

【期待すること】
 ・道路ネットワークの充実（渋滞緩和、事故防止策、街路樹、特に連雀通り）
 ・本町住宅の更新
 ・新庁舎をいかしたまちづくり

【期待すること】
 ・高架下の有効活用、活性化

【魅力あるまちの姿】
 ・圧倒的なみどり・自然
 ・子どもが安全で安心して遊べる・学べる場に

【期待すること】
 ・自然環境の保全
 ・桜並木の保全・整備（土手野川沿い、観光名所として）
 ・生物多様性の保全

【魅力あるまちの姿】
 ・圧倒的なみどり・自然
 ・子どもが安全で安心して遊べる・学べる場に

【期待すること】
 ・自然（草木、菜の花）の保全
 ・公園の整備・保全

(2) 市民協議会

都市計画マスタープランについての理解、社会情勢を踏まえた改定の必要性及びこれまでのまちづくりの課題などについて情報共有を行い、将来のまちづくりに向けた市民の意見を把握するため、令和2年度に全体構想、令和3年度に地域別構想の協議会を開催しました。

① 令和2年度（全体構想）の開催概要

5つの分野（土地利用、道路・交通、みどり・水・環境共生、安全・安心、生活環境）ごとに、まちづくりのテーマ・基本目標につながる意見及び将来の小金井市（まち）に求める視点について、グループワークにより、意見交換を行いました。

	実施時期	実施場所	参加人数	実施内容
第1回	令和2(2020)年 8月1日 14:00～16:00	本庁舎 第1会議室	14人	まちづくりのテーマ・基本目標、基本方針につながる意見を把握 ・「地域の魅力」「地域の課題」についての意見交換 ・「将来の小金井市（まち）に求める視点」についての意見交換
第2回	令和2(2020)年 9月12日 14:00～16:00	商工会館 会議室	15人	「将来の小金井市（まち）に求める視点」について具体的に考える ・分野別方針についての意見交換（土地利用、道路・交通、みどり水・環境共生）
第3回	令和2(2020)年 9月26日 14:00～16:00	市民会館 （萌え木ホール） 会議室	13人	「将来の小金井市（まち）に求める視点」について具体的に考える ・分野別方針についての意見交換（安全・安心、生活環境①、生活環境②）



② 令和2年度（全体構想）の開催結果

●第1回市民協議会

A班

分野	地域の「魅力」	地域の「課題」	まちに求める視点(意見・提案など)	
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■駅周辺が便利 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーが多い ・J R高架下のお店の利用 ・すてきな個人店がある ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・イベントが多い ・駅前を使った大型イベントが開催 	<ul style="list-style-type: none"> ■J R中央線の駅がある <ul style="list-style-type: none"> ・J R中央線の始発駅になっている ・都心までの交通が便利 ■教育機関が充実 <ul style="list-style-type: none"> ・大学等が多い ・教育関連施設が充実 	<ul style="list-style-type: none"> ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・個人経営の飲食店等が減少している ・食堂がない ・蕎麦屋さんが少ない ・ホテルが少ない ・駅前に娯楽施設が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいの更なる創出と商店街の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前イベントの誘致 ・公共交通（COCO バス等）と飲食店のリンクが必要ではないか ・大学等との連携・共有を図る ・若い方が多く集まるため、利用できる店等を誘致 ■自転車利用者にやさしい駅前環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の利用を便利にしてほしい ・駅前で自転車を無料で駐輪できるシステムがほしい（周辺店舗のレシートで2時間無料等）
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■都市計画道路の整備によるみどりの減少・懸念 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路への市の方向性のなさ ・市のみどりを守ること、道路をつくることに対して、市の環境部署と建設部署の調整をどのように図っているのか疑問である 	<ul style="list-style-type: none"> ■生活道路が狭い <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路で狭いところがあり、通学・通勤の人たちにとって危険 ■まちづくり目標が不明確 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの方向性を明確にしてほしい。道路なのか自然維持なのか 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者や自転車にやさしい道路環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路で狭いところがあり、通学・通勤の人たちの安全性を確保するための改善が必要 ・自転車道の整備が必要 ・通学路等における安全な歩行環境の整備 ・交通誘導方法について、信号設置や誘導員の設置により安全な道路環境にすべき ■狭い道路沿いの建築に対する基準の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路沿いで建設する際、セッバックする条件等、建設許可基準を強化してはどうか ■道路整備における市民意見の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見を尊重した話合いが必要。市民協議会や市民アンケートで市民の声を把握すべき 	
みどり・水・環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり <ul style="list-style-type: none"> ・公園が多く、連続したみどりが充実している ・公園のトイレが整備されていて良い ・3箇所（小金井、武蔵野、野川公園）に恵まれており、維持していくべき ・自然を勉強する機会が多く見受けられる ・はげの小路は、東京の名湧水 57 選の一つに選定されており、みどりを守るといって市も積極的な姿勢をみせているため、継続してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ■宅地化によるみどりの減少 <ul style="list-style-type: none"> ・最近、近所で 3,000 m² 程度のみどりがみごとに宅地化されてしまっている ■ごみ処理の問題 <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理の問題（ごみの分別の徹底） ・ごみ処理について、もっと関心を持ってほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりの保全・維持 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを活用したみどりの保全 ・みどりの活用・宣伝・PR ・みどりを活用して子ども・高齢者・大学生をつなげる ・生垣化を進める、市民で支える仕組みづくり ・自然の活用について、公園等でのイベント開催 ・良い自然を持つ家のオープン化 ・小学校区と連携した自然・農の教育体験 	
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■防災面の不安 <ul style="list-style-type: none"> ・防災面に不安 ・防災に関して、町会等（地域）との協力の仕組みづくりが必要ではないか ・毎年、大雨や水害の季節に被害を予知するあるいは、防災のしくみが良く分からない（不安） ・避難所（市庁舎）の開設が分かりにくい 		<ul style="list-style-type: none"> ■防災面での対策 <ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫を町内に設置する工夫をする ・市民掲示板を有効活用した防災情報の発信 	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■都市農地の活用がなされていない <ul style="list-style-type: none"> ・農家は一定数いるが、もっと活用できるのではないかと ・農地の更なる活用を検討する必要がある ・安心なものを育てる農地や畑を残していくべき、みどり自然も含めて ・農地の活用と教育をつなげる ■小金井野菜 <ul style="list-style-type: none"> ・小金井野菜のブランド化が必要ではないか ■生活利便施設の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・病院等の施設が近くにあるので、緊急の場合に助かっている ・小金井公園や栗山公園では、スポーツ施設が充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者の交流の場が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のコミュニティスペースがあると良いのではないかと（高齢化への対応） 	<ul style="list-style-type: none"> ■都市農地の活用方法 <ul style="list-style-type: none"> ・農地・農園を持っている方に協力いただき、体験型農園を計画して地域活性化、趣味の拡大を図る。市内で既に 70 人規模での取組を始めており、さらに発展させる ■公園の周辺に交流の場をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・公園周辺に図書館、市民ホール、福祉会館、飲食店等の施設をつくる ・公園の使いやすさ ・悠友クラブ（老人クラブ）による活動 ■小金井野菜のPR・普及 <ul style="list-style-type: none"> ・市民が求める野菜のニーズ調査 ・市民は、安心な食べ物やオーガニック野菜を求めているのではないかと ・小金井野菜生産者の見える化 ・市内のスーパーで、小金井野菜コーナーをつくり、無農薬・減農薬野菜をPRしてはどうか ・市内学校等での給食で使用し、体験してもらおう ・小金井野菜を使用した飲食点等の可視化（マップ等） ・駅内にマップを提示（例えば、良心市マップ等） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■AIの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・AIの活用を考えるべき ・AI技術が進むと人間の力がなくなるため、人のためにAIを使うべき 		<ul style="list-style-type: none"> ■透明性のある行政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・行政関連施設のガラス張り（情報共有） ■学校授業等のIT化 <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校、14校へのIT化 	

小金井市都市計画マスタープラン

B班

分野	地域の「魅力」	地域の「課題」	まちに求める視点(意見・提案など)
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■生活利便施設が充実 <ul style="list-style-type: none"> ・スーパー・ドラッグストアが多く、便利 ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型の商業店舗がある ■都心へのアクセスが良い <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線の武蔵小金井駅・東小金井駅、西武線の新小金井駅があり、都心へのアクセスが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・駅前のテナントが接骨院や美容院による買取が増え、魅力あるテナントが駅前に少ない、商店会がのきなみ衰退している ・アクティブシニアがお金を落とせる施設が少ない ・こじやれたレストランがない ■イベントの波及効果が低い <ul style="list-style-type: none"> ・祭りのイベントは多いが、その後のつながりが少ない ■民間の力がうまく活用されていない <ul style="list-style-type: none"> ・都市開発や運営において、民間の力や知見がいかされていない ・せっかくの再開発による公開空地が活用されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■就業場所の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・長距離通勤しないですむまちづくり
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■駅等へのアクセスが不便 <ul style="list-style-type: none"> ・東小金井駅への通勤・通学時の駅へのアクセス道路が整備されていないため、歩行者にとって危険 ・市内から高速道路へのアクセスが悪い ・JR中央線を南北に縦断する際の交通手段（公共交通）が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行環境が悪い <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車が分離されていない道路が多く、危険 ・自転車道の整備が不足しているのでは ・自転車のマナーが悪い ■交通案内が多言語対応していない <ul style="list-style-type: none"> ・外国人等への対応として、交通案内を充実すべきでは 	
みどり・水環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり <ul style="list-style-type: none"> ・田園的風景が魅力的である ・公園等のみどりが多い ・都立公園が近くにある ・都立公園等の大きい公園があるため、多くの人が利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりの保全・維持 <ul style="list-style-type: none"> ・市街地のみどりは景観を大切にすることが重要 ・にぎわいよりのんびりを求める ■低炭素社会のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・ゼロエネルギー（低炭素化）に向けての姿勢が重要 	<ul style="list-style-type: none"> ■産学官連携したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携したまちづくりが重要 ・民の役割：利益の追求 ・積極的な民間活用（例：PPP等） ・市民の役割：サービスの享受 ・市民協働でまちづくりを進める仕組みづくり ■魅力を維持していくための検討が必要 <ul style="list-style-type: none"> ・良いものは維持していくことが大事であり、人口減少のなかのように魅力を維持していくかを検討することが重要（みどり税とか） ・維持するためには、魅力の活用方法の工夫が重要
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■犯罪が他都市より少ないのではないか <ul style="list-style-type: none"> ・犯罪が少ないと思う（他市の状況と定量的に比較してほしい） 	<ul style="list-style-type: none"> ■狭陰道路が多く、防災面で不安 <ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路が多く、火災発生時等における防災面の不安がある ・東小金井地区では、緊急輸送道路がカバーされていない ■避難所の防災機能が不安 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に避難所として使用される公共施設について、災害時の使用に耐えるものとなっているか不安 	
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コミュニティが形成 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ネットワーク（ご近所付き合い）がある ・市民のNPO法人等が頑張っている ■文教都市 <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い学校が多い、文教都市 ■分譲マンション等が高い <ul style="list-style-type: none"> ・分譲マンション・戸建ての値段が高く、若い世代が買えない ■空き家・空き地が増えている <ul style="list-style-type: none"> ・空ビル・空き地が増加しており、犯罪や火災の懸念 ・空ビル・空き地の有効活用ができていない（駅北口） 	<ul style="list-style-type: none"> ■大学が活用されていない <ul style="list-style-type: none"> ・文教都市であるにもかかわらず、大学等の活用がなされていない ・大学を活用すべきである。施設の公開等 ・大学用地で、狭い小金井市のスペースを占有しているのでは ■ごみのポイ捨て <ul style="list-style-type: none"> ・ごみのポイ捨てが目立つ ■地域の拠点となる施設が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・野川地域の充実が必要（文化・交流施設、ごみ処理場） ・広域的拠点となる総合病院や研究所、若者のアルバイト先（雇用）等、広域的な核となる複合施設が必要ではないか 	<ul style="list-style-type: none"> ■日常生活圏での地域コミュニティの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・老人と若者において、まちに求めるものが異なる ・徒歩圏でのコミュニティをつくるのが大事 ・近所の助け合いが重要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■行政運営 <ul style="list-style-type: none"> ・古い組織の再編が必要かもしれない、行政施策が古い ・自主財源先の確保のため、都市計画税の検討 ・市民等のまちづくりへの関心が低い ・貧困対応等が見えない ・環境施設の充実が必要ではないか（省エネ対応、ZEB：Zero Energy Building等） 		<ul style="list-style-type: none"> ■人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・小学生が理解できるような都市計画マスタープランの授業をつくる（小さいうちから、都市計画を担う人材を育成する） ・国・都との協力関係を良くする（人事等） ・奨学金制度の充実が必要

C班

分野	地域の「魅力」	地域の「課題」	まちに求める視点(意見・提案など)
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市民が運営するイベントが沢山あり、楽しめる ・市民活動が活発で市民力の高さが魅力 ■駅周辺の買い物が便利 <ul style="list-style-type: none"> ・日常の買い物をするスーパー等がたくさんあり便利 ・個人経営店舗が魅力的 ・駅前は適度に便利、普段の買い物で困ることはない 	<ul style="list-style-type: none"> ■近くに商業施設がない <ul style="list-style-type: none"> ・駅まで行かないと買い物づらい ・家の近くの買い回り(買い物)が不便 ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の衰退による商店の減少 ・再開発により、個人経営店舗が減ってしまい、さみしい ・自転車を止めて、円滑に買い物ができる商店が減ってしまった ■駅北口に駐輪場がない <ul style="list-style-type: none"> ・駅北口に、自転車駐輪場がほしい ■市民活動への支援が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動に対して、行政の支援が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいを維持 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺は今くらいのにぎわいで良い
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通が便利 <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線があるため、都心へのアクセスが良い ・CoCoバスが便利 ■道路整備によるみどりの減少 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備により、自然ばかり破壊されて、住んでいられなくなると思う ・近くに道路計画があり、本当に整備されるのかと不安 	<ul style="list-style-type: none"> ■バスの乗り継ぎ等が不便 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り継ぎが大変 ・バスがない地域もある ■歩行者・自転車に危険な道路 <ul style="list-style-type: none"> ・きちんとした道路がない ・歩道が狭い ・車道と自転車通行帯が狭くて危険な箇所がある ・狭い道路で、電柱が邪魔 ・全体的に解消してほしい ■駅へのアクセスが悪い <ul style="list-style-type: none"> ・国分寺崖線以南の地域は駅まで行くのに大変 	<ul style="list-style-type: none"> ■機能を変化させた安全な道路整備 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な道路は、新しく作るのではなく、機能を変化させるべき ・大きな変化は求めている ・ソフト的な対策をしてほしい
みどり・水・環境共	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野公園や野川等の自然の中で遊べて、とても良い環境だと思う ・小金井公園等レジャーや憩いの場がある ・野川等の散歩が楽しくなる自然環境 ・大きな公園(小金井公園・武蔵野公園等)がある ・魅力的なみどりは、市民が努力して残してきたもの 		<ul style="list-style-type: none"> ■将来にわたりみどりを残していく <ul style="list-style-type: none"> ・市民のみんなで努力して残してきたみどりは、将来も残していきたい ・小さなみどりがなくなってしまうのは不安(開発等で)
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■治安が良い <ul style="list-style-type: none"> ・治安が良く、安心して暮らせる 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■良好な地域コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティができています ・ご近所付き合いが良い ・ご近所とは仲良く暮らしている ■住みやすいまち <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道路が近くにないのでも静かな良い住環境です ■働けるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市内で働ける環境にある 	<ul style="list-style-type: none"> ■世代間交流が希薄 <ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流がない ・情報共有しづらい ・老後の生活が不安(ソフト面で) ■施設等について <ul style="list-style-type: none"> ・総合病院まで行くのに不便な地域がある(貫井北町等) ・庁舎・公共施設・学校等が古く、ユニバーサルデザインになっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ■良好な住環境の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・良好な住環境を維持していきたい ・地域格差がなくなると良い(買い物、アクセス道路等) ■空き家の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用ができると良い
その他			

D班

分野	地域の「魅力」	地域の「課題」	まちに求める視点(意見・提案など)
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ■にぎわいのあるまち <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動が活発(イベント等の開催) ■学生が住みやすいまちに <ul style="list-style-type: none"> ・学生が住みやすいまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者の交流の場が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会に向けて地域の方が集まれる場所が必要 ■地域の拠点が無い <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとにまちづくりの拠点があれば良い ・駅前に集中させるのではなく、地域で買い物・交流できるまちにしてほしい ・中学校区くらいで買い物できるまちづくりセンターが必要 ・地域の方が歩いて暮らせるまちづくりが必要 ■商店街等の衰退 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街が少し元気がない 	<ul style="list-style-type: none"> ■多世代が共に利用可能な地域拠点の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と子どもと一緒に過ごせるまち ・スーパー併設の小規模(よろず屋のような)な場所の創出 ・多世代が気楽にフラッと行きたくするような場所をつくる(商店街、中学校等) ■商店街の再生 <ul style="list-style-type: none"> ・商店街のにぎわい再生、付き合い・交流の場づくり ・商店街を魅力ある場所にしてい(カフェ、子どもを連れて行きたくするような場所) ・商店街の活性化 ・行政と地域とのまちおこしをもっと活発にする
道路・交通	<ul style="list-style-type: none"> ■生活道路 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅地に自動車が入ってこないのが安心 ・入り組んだ道が少ない ■生活道路 <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路が貧弱(凹凸が多い) ■都市計画道路 <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路3・4・1、3・4・11の見直しが必要(中止してほしい) 		
みどり・水・環境共生	<ul style="list-style-type: none"> ■豊富な自然・みどり <ul style="list-style-type: none"> ・みどりが多く、国分寺崖線がある ・自然・みどりの多様性、保全の取組が必要 ・みどりの保全と子どもが遊べる地域の人にとっての魅力の場の創出 ・地域の人にとって重要な崖線を守ってほしい(景観・住環境) 	<ul style="list-style-type: none"> ■自然・みどりの減少 <ul style="list-style-type: none"> ・みどり・自然の減少 ・みどりが減少し、宅地化が進む ・50年間で失われたみどりが多く ・みどりの保全が必要 ・屋敷林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりを次世代に残していく <ul style="list-style-type: none"> ・小金井の魅力はみどり ・みどりのネットワークをつくっていく ・大学のみどりの重要性 ・まちづくりのなかでみどりを守っていく ・みどり最優先のまちづくり ・大きなみどり、小さなみどりのネットワークの維持 ・国分寺崖線、野川等、みどりをいかしたまちづくり ■市民協働によるみどりの保全 <ul style="list-style-type: none"> ・樹林を保存する基金、保有者を集める基金等 ・みどりを手放す人の助成を市民の力で(基金等) ■環境に配慮したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会(低炭素社会)、循環型のまち ・省エネルギーなまちづくり ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取組
安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> ■治安が良い <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所が少ない(ハザードマップ上の危険区域) ・防災面に関して比較的安心している 		
生活環境	<ul style="list-style-type: none"> ■田舎と都会が共存した適度なまち <ul style="list-style-type: none"> ・地域の落ち着き、生活レベル、学力が高い ・適度な規模の広さ・人口である ・田舎と都会の共存 ・コンパクト ■良好な地域コミュニティ <ul style="list-style-type: none"> ・近所の付き合いが多く、声掛けの機会が豊か ■子どもが安心して遊べる <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊びやすい環境にある 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コミュニティの希薄化 <ul style="list-style-type: none"> ・新しいアパートが増えて、住民の顔が見えなくなってきた ・なんとなく元気がない ■空き家が活用されていない <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用が必要 ・空き家を活用したテレワーク場所の創出 ・空き家を活用して、気軽に集える場所づくり ■保育園での園庭の不足 <ul style="list-style-type: none"> ・園庭のない保育園が多い ■都市農地の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・農と福祉の連携が必要(農と学校) ・土地の切り売りによる農地の減少 ・生産緑地の保全が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域コミュニティの維持・継続 <ul style="list-style-type: none"> ・おとなりさんカフェ ・地域コミュニティづくり ・学童・遊びの場づくり ・地域センター・集いの場づくり ・学生のシェアハウス ・空き家の活用 ■暮らしやすいまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせるまちへ ・子育てしやすいまちへ ■都市農地の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・農地の有効活用(市民農園等) ・風景の保存 ・学校給食での小金井野菜 ・市民農園を増設するための行政支援、制度が必要 ・農地×福祉、学校給食等の連携を通じた保全・活用が必要 ・地産地消の仕組み
その他			<ul style="list-style-type: none"> ■その他の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスにより、都心に行かなくても良くなった ・地域で過ごす時間が増えるため、地域を大切にしなければならない ・市民の力をいかすまちづくり

●第2回市民協議会

土地利用

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど	
<p>駅周辺の魅力をさらに向上させるには</p>	<p>■歩いて楽しい駅周辺まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅から小金井公園までの通りの景観を良くする ・駅北口の再開発 ・小金井公園へのいざない ・商店街連携 ・回遊性の高い歩行者ネットワークを形成する（巡りと溜まり空間、公開空地活用、歩道整備） <p>■駅周辺の土地の有効利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅北口の駅前ビル（旧西友）の整備 ・駅北口のドン・キホーテの入っている駅前ビル（土地）の整備 ・駅周辺の街灯整備、無電柱化するとつげられない ・東小金井駅北口の土地区画整理事業の推進 <p>■3つの駅の個性・メリハリ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵小金井駅周辺は近代化 ・東小金井駅周辺は駅南口の低層化により、既存の商店街を守る ・新小金井駅は現状維持（牧歌的な風景） ・各駅が持つ個性をいかし、メリハリをつける 	<p>■駅周辺の交通動線の円滑化（安全で利用しやすく）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車をちょっと停めて買物できるお店が増えるとうれしい。イトーヨーカドーは駐輪場が遠い ・駅に向かう道と駅から出る道を一方通行化する等、駅北口広場への交通処理を円滑化 ・駅周辺の雨除けシェルターをもっと増やしてほしい ・駅南口において、一般車の送迎スペースがほしい。今はバスやタクシーとバッティングしてしまう ・駅周辺の道路ネットワークの充実 ・駅周辺の駐輪場の整備 ・武蔵小金井駅周辺の再開発第1地区と第2地区の間の道路が危ない。地区を分断している ・駅周辺は、園庭のない保育園が多いため、保育園児が遊べる場所を確保してほしい <p>■駅周辺の再開発（地域の個性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再開発で周辺の家賃が上昇し商店街にもチェーン店が増えていて残念に思う ・再開発できれいになりすぎて小金井らしさが少なくなってきている ・駅北口は江戸東京たてもの園をイメージしたような再開発、低層の建物
<p>身近な場所で地域の拠点となり得る機能や施設とは？</p>	<p>■地域拠点（多世代交流）となり得る機能・施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康関係の施設（ヘルスケア） ・集える場（公民館等）、多世代で利用できる施設 ・職住近接したまちづくり：オフィス、サテライトオフィス、ワーケーション ・小規模な市民センターが分散していると効率が悪い ・ため、多様な機能を備えた地域拠点となる市民センターが整備され、世代間の交わりの機会つくる ・地域（住区）を総括できる診療病院等をつくり（お茶の水駅周辺をイメージ、総合病院） ・細かな地域拠点の創出 <p>■高架下を活用した地域拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央線の高架下を活用した地域拠点の創出 ・JR高架下の更なる活用による駅南北の融合 ・JR中央ラインモールとの連携、高架下の有効利用 ・東小金井駅高架下でのK-O-T-OやP-O-T-Oの取組みが良いが、もう少し短期や1回限りの利用もできるようにすると良い（気楽に利活用できる環境づくり） 	<p>■空き家等の活用による地域拠点の創出（気軽に出店＝ビジネスチャンス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用して小規模店舗が安く出店できるような仕組みづくりが必要 ・「にしまきごはん」というカフェでは、空き家を活用した店舗で、子育て世代のお母さんや子どもたちが集まる場所となっている ・空き家を活用して、お店を気楽に出店できる仕組みづくり ・コミュニティ施設、勉強スペース、小さい図書館等としての空き家活用 ・空き家を活用した起業支援、NPO法人活動等の支援 ・地域密着型の就業場所の確保（地域ネットワーク） ・空き家を活用して、少し出店してみたい、副業として出店したい人の誘致（ビジネスチャンスに） ・リモートワーク用のシェアハウスとして空き家を活用 ・商店街の再活性化（イベント）により、地域の寄り合い所をつくる ・個人経営店舗への支援が必要 ・小さな公園を拠点に ・貫井南町のように、小さな店舗が集まり、小さな商店街をあちこちに形成 ・都営住宅の利活用
<p>商店街の再生など、にぎわのあるまちづくりを進めるためには？</p>	<p>■にぎわい創出のためのアイデア（イベント・PR方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街イベント、食や音楽、学生主体の取組み ・ヒガコフェス的なものを各商店街で開催 ・個人経営店舗を守るためのPR ・市立公園にキッチンカーが出店できるようになった。今後は、さらに規制緩和し、テント出店できるようにする ・小規模店舗が出店しやすい仕組みづくり ・商店街や個人経営店舗を守る取組み。個人経営店舗をPRするイベントを公園やソコラの広場を活用して開催 <p>■地域に密着したお店を大切に（親子で入れるお店、個性のあるお店、地域で活UP）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェーン店等の大型店舗ができて個人経営店舗が衰退しており、さみしい ・円滑な代替わり（地主） ・「小金井タウンショップ黄金や（閉店）」のような地場産業の育成に関わるお店が大事 ・大型店舗だけでなく特徴ある商店を大切にする ・個人経営店舗を増やしてほしい ・大人数で入れるバブがほしい ・地域の人が声を上げて、市と連携した取組を進め、地域活力を上げる ・エリアマネジメント（地元・民間）、イベント・にぎわい創出、統一感あるまちなみの形成 ・市が協力してシルバーがイキイキと働けるお店が増えると良い 	<p>■大学と連携したにぎわいの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ、遊び場、勉強場所として大学施設を有効活用 ・大学や学校の開放 ・東京農工大と連携して、小金井の農業を主に市民にアピールする ・「キッズカーニバル（昨年まで学芸大で開催）」の拡大 ・「科学の祭典（昨年まで学芸大で開催）」の取組みを拡大 ・大学等の体育館を貸し出し、スポーツできる場の創出 <p>■誰もが利用しやすい商店街</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の街灯整備、歩道整備、案内板整備等 ・キャッシュレス可能な店舗を増やす <p>■リサイクル事業所（個性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の中にリサイクル事業所のような場所をいくつもつくれば良い（空き店舗活用） ・小金井市のリサイクル事業所はすばらしい施設だった。地域拠点（交流の場）として再開してほしい
<p>その他</p>	<p>■広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域核の形成、小金井（自動車学校）、調布（運動・交流）、府中（音楽） <p>■都市計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の分け方 ・現状にあわせた都市計画の見直し（用途地域の見直し） ・東小金井駅周辺に公共施設がない 	<p>■みどり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑道ネットワーク、特に玉川上水系統のジョギングコース・マラソンコースのグリーンベルトをつくる ・沿道建物の緑化助成制度（屋上緑化、壁面緑化等）（事例：ドイツ） <p>■都市農地の利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民農園の拡大 ・既存農地の利活用 ・相続対策や屋敷林の維持 ・都市農地の活用

道路・交通

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど		
誰もが円滑に移動できる交通環境を整えるためには？	<p>■交通結節機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者が駅北口のタクシー乗り場以外で手を上げていたが、止まらなかった 駅北口に、公営の駐輪場がほしい（買い物しやすい環境整備） 中・長距離バス発着場の整備により、通勤・通学の多様化、来街者の増加を目指す 駐輪場の拡大・整備（有料化） 	<p>■CoCo バスの利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 小金井の魅力を上向きさせるため、CoCo バス等で駅と小金井公園・武蔵野公園等を結ぶ バス便数が減った コミュニティバスルートの市外への運行（例）味の素スタジアムまでのルート延伸等 CoCo バスルートの拡充 狭隘道路の改善による CoCo バス導入（CoCo バスが入れない箇所を改良） 	<p>■公共交通を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢化社会に対応した移動手段の確保と生活の質の向上 CoCo バス等の公共交通の充実を <p>■道路の役割の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各道路の役割の見直し 主要生活道路の改修 交通計画との連動（一方通行化等） 車優先の考え方を見直してみることも必要
歩行者や自転車が安全に通行できる道路環境とは？	<p>■道路のバリアフリー（ユニバーサルデザイン）</p> <ul style="list-style-type: none"> 車いすが通るには歩道が不十分、沿道店舗の物（看板等）が置かれる等マナーが悪い ユニバーサルデザインのまちづくり 歩道整備、無電柱化、バリアフリー、ユニバーサルデザイン、街路樹・植栽、防犯カメラ設置 段差の解消等のバリアフリー整備 	<p>■自転車専用レーン等の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 車と自転車のための安全な道路整備（自転車道整備） 車道と自転車の区分け（連雀通り、北大通り） 連雀通りは自転車・歩行者が錯綜し、怖い 自転車通行帯の整備、自転車が走りやすい環境整備 街路樹等の適切な管理（枝葉） 色分けや物理的な区分けによる安全の確保（歩行者、自転車等） 安全な自転車通行帯の整備、荷捌きスペース（駐車専用レーン）の確保 	<p>■生活道路の整備（地域に住む人のための道路づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さなコミュニティを大事したい 小さな道をゆつくり走れるようにしてほしい 歩いて暮らせるまちへ。「生活弱者」が安心して外出できるようにしてほしい 車が入ってこない路地・みどり、安心して遊べる 歩行者の安全安心の面、自転車利用者のマナー教育が必要ではないか 自転車利用者のマナーが悪い（自分中心の人が多すぎる） 新たな道路よりも現道の工夫が必要である 身近なコミュニティのための道路整備 “散歩道” みどりと趣き “路地” 緊急車両の進入は必要 セットバック、すみ切りで工夫して消防車両の走行の円滑化 砂利道が通りにくい 私道の整備
市内や市街への移動を円滑にし、安全・安心のまちづくりを進めるためには？	<p>■都市計画道路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災道路として道路幅を拡充する（特に歩道）（東西方向：五日市街道、連雀通り、北大通り）（南北方向：新小金井街道、小金井街道、緑中央通り、東大通り） 防災道路のネットワークは必要なので、現道を活用する 大きな道路計画による景観や魅力の低下がないように配慮し、現道を活用した道路拡幅等も検討が必要 広い道はスピードを出して走る車が増えるので必ずしも良いとはいえない 現段階で防犯面での不便さはない 誰のものの道路なのか、地域住民のための安全な道であれば充分 自然を破壊するような都市計画道路は未だ必要なのか疑問 崖（はけ）と野川に重大なダメージを与えるため、都市計画道路 3・4・1 号線、3・4・11 号線は凍結中止 住民にとっては都市計画道路は不要 市内や市外への移動について特に不便とは思えない 3・4・11 号線は五日市街道の渋滞につながるので必ずしも便利になるとはいえないと思う 新しい道路よりも今ある道路の拡充することが大切 50年前の計画道路を、今いきなりつくろうとするのは便利になるよりまちの文化の破壊 都市計画道路の整備促進 五日市街道、北大通り、連雀通り、東八道路とリンクする南北道路拡充 3・4・11 号線は、多少は自然がとられても消防・防災面では必要ではないか 		
その他	<p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 1969 年のオリンピックでは甲州街道整備した。例えば玉川上水にマラソンコースを誘致すべきではないか 道路・交通はまちづくりを仕上げるもの 土地区画整理事業は東小金井周辺のみであり、東八道路周辺も実施すべきではないか 安全な道路、橋や崖等の長期危険箇所撤去促進と道路拡幅を進めるべき 昔のような夢のある計画を描き、それを新しいまちづくり制度を使って実現してほしい 財源確保が重要である 		

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど
<p>大規模な自然(みどり)を保全・活用するためには？</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>■生物多様性(玉川上水、野川等)の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉川上水の生物多様性を大事に ・子どもたちの遊び場 野川で魚採り、地域とのつながり、ふるさとへの想い ・玉川上水は、桜再生のために既存樹木を切りすぎている ・玉川上水のみどりのあり方についてもっと市民全体の意見を聞いてほしい(桜だけではなく) ・野川における調整池の保全・活用 ・野川で市の鳥である「カワセミ」を見なくなってしまったため、生物の維持・保全が必要 ・野川を遊び場に(今年は新型コロナウイルスのために非常ににぎわっていた) <p>■大規模公園の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都立公園(小金井公園、野川公園、武蔵野公園) ・武蔵野公園は、くじら山、わんぱく夏祭り、原っぱ祭り等の市民参加イベント等を開催 ・行政と連携した公園管理 </div> <div style="width: 48%;"> <p>■はけの保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・”はけ”の保全と再生、保全基金の拡充(トラスト) ・都市計画道路3・4・1号、3・4・11号の中止凍結 ・はけは、手つかずの木々が魅力 ・都道の建設 オーバーパス ・自然を守ることを第一優先の防災道路の整備が大切 ・東京都環境局では、東京における自然の保護と回復に関する条例により、50箇所の保全地域を指定しており、国分寺崖線もその一つに指定されている。一方で、都の建設局は都市計画道路の整備により、はけの道を分断しようとしている。部局間でなぜ方向性が異なるのか疑問 </div> </div>
<p>身近なみどりを保全・活用するためには？</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>■身近なみどりの維持管理(官民)・保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかのみどりは適正な管理必要 ・子どもの遊び場(野川) ・ボランティアによる維持管理 ・維持・保全の担い手への支援 ・みどりの創出により緑被率を上げる ・シルバーセンター能力の拡大(植栽剪定) ・既存みどりの保全、校庭の芝生化、大学のみどりの開放 ・みどりを保全するための資金確保として、みどり税、ふるさと納税、クラウドファンディング等が考えられる ・みどりを軸にした市のイメージを向上させ、市民を増やし、税収増 ・市保有公園等の活用 ・都市公園は市が責任をもって管理(浴恩館公園、滄泉園、梶野公園、栗山公園) <p>■民有のみどりを守る仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋敷林の保全・坂の保全 ・個人宅の庭が雑草を防ぐためにコンクリートにされることが多いので、インターロッキングの助成等 ・個人宅の保存木への助成金を増やして守る努力を ・地主の持っている樹木を借り上げることを考える ・個人宅の屋敷林が小金井の良さのひとつ、大切にしてほしい ・自然のみどりの保護、個人の大きい土地が相続で3,000㎡近い買収されて宅地となるようなことを未然に察知して、市が自然保全に尽力してほしい </div> <div style="width: 48%;"> <p>■パークマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の事業化・民間運営・管理(そこで稼いでもらう) ・環境学習への活用、夜的小金井公園 <p>■みどりの拠点化・みどりのネットワーク化形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模みどりと身近なみどりのコントラスト(コラボ) ・市内のみどりのネットワーク、みどりの回廊 ・公園を拠点としたみどりの保全(大小に限らず) ・市の大きな緑地付近の空地は優先的に市が買い取ることで、大きな緑地を維持 ・みどりと住環境の結び付け、やすらぎ、交流の場、子どもの遊び場、保存樹林、屋敷林 ・連続性のある緑地は生き物が生きるために重要、道路の分断は良くない ・サイクリング、散歩を系統化できる「緑道」計画と面整備によりつくる </div> </div>
<p>小金井らしい景観を維持・形成するためには？</p>	<p>■景観をまもる仕組みづくり(官民)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整った景観がつけられる仕組み ・景観が大事(手入れ、剪定)。市民の力、協力で維持 ・景観を守る、エリア毎の景観計画、ガイドライン、地区計画、文教地区 ・市民への意識を高める
<p>環境共生のまちづくりを進めるためには？</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>■地下水・湧水の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨水浸透枡、大事に ・浸透枡(水の循環サイクル) ・地下水保全のとりにくみ ・湧水保全 ・透水舗装の整備 ・貫井神社の湧水地域の農家の方々語り継ぐ歴史・風土史 ・地下水湧水保全条例 ・点を線にしてい(水系) ・地下水を守るために開発時に雨水浸透枡等の義務化を ・野川の瀬切れ対策、雨水枡 <p>■地球温暖化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒートアイランド現象の解決策の検討が必要 </div> <div style="width: 48%;"> <p>■環境共生のまちづくり(自然循環型、低炭素型まちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Rの取組み、特にリサイクル大切に ・リユースを大切にするためにリサイクル事業所の再開を ・リサイクル事業は、スマホやWebを使った現代にあったリサイクル事業を(不用品交換・市民参加等) ・ペットボトル(プラ)等処理の工夫 ・ゼロエネルギーに向けて市独自の検討を進める ・脱炭素社会、公共施設は再生可能エネルギーへの転換 ・新庁舎は、太陽光パネル、学校、保育園 ・総合環境化の中で、ごみ処理、下水処理等に関して、隣接市との連携を進める ・SDGs自治体として、大規模建設に環境負荷の低い設備を ・市役所への再生エネルギーの設置 ・景観が大事(手入れ、剪定)、市民の力でまちなみ景観を良くする ・景観を守る、エリア毎の景観計画、ガイドライン、地区計画、文教地区 ・市民への意識を高める </div> </div>
<p>その他</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>■都市農地、生産緑地の保全・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市農地のみどりを守る ・生産緑地は、都市農家の高齢化、営農の難しさ、新しい住人との摩擦、2022問題がある ・農をいかしたまちづくり(学校給食と農、福祉との連携) ・農地や生産緑地の保全 ・小金井の特色(土地)をアピール、みどりを利用した事業を活性化(民間農園等)(土地を意識的に市等が取得して農園等に借用する) ・市民農園の増加 <p>■計画的な樹種選定と管理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新小金井街道の桜を見るにつけ、10年後20年後の木の成長を見越して大きな植樹をしてほしい ・ごみ対策課との連携、落ち葉 </div> <div style="width: 48%;"> <p>■防災まちづくりとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調整池の拡充(防災) ・公園と防災の紐づけ ・避難場所や備蓄倉庫設置場所としての公園の活用 <p>■Withコロナでのみどりのあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで大学に入れなくなってしまった。入れるようにしてほしい。(みどり環境が充実) <p>■水・みどりを守る意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境の良いまちをつくる俳句コンクールを行う(例:松山) ・学校教育と連携した環境保全意識の学習 </div> </div>

●第3回市民協議会

安全・安心

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど		
<p>地域の防災まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<p>■自助意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自助」の啓蒙 ・災害時の自助行動に関わるセミナーや手法も検討 ・自助ができないと、共助も公助もできない <p>■地域の防災まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の普及 ・災害の種別による防災訓練はできているか ・防災の取組みの共有が必要 ・担い手がない ・地域と医療機関とのネットワーク ・町内会の機能の向上、都の補助金で安全な衛生用品を買って備える <p>■みどりをいかした防災まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどりの保全と防災まちづくりの連携（避難場所、貯水場所、備蓄場所等に関して） ・井戸・湧き水の保全 ・何かの時に湧水が大事になる ・給水場所の周知や公園への給水トイレ整備（事例：府中市） <p>■災害に強い基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路（特に斜面）の計画的な管理を ・水害対策の見直し、水路多い ・府中市では各町内に体育館と公園が必ずあり、公園には水飲み場・トイレが必ずついています。モデルになり得ます ・廃墟で隠れている水路が多い ・防災行政無線の整備を ・大きな道路でコミュニティを分断しない ・道路新設で地域コミュニティをこわさないことが大切。立ち退きさせられる人のことを考えてほしい ・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ <p>■コロナ禍に対応した防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、町内の診療所等は経営難を訴えている。医療体制の充実が必要 ・コロナ禍での避難所体制の検討・構築 	<p>■事前復興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災事前対策（効果を見極めて）として、国や都が連携して事前復興計画を検討すべき（ボランティア受入、被災予想、企業・大学連携等） ・事前復興を充実して公表すべき ・実際に災害に遭った時にどうしたらいいかシュミレーションできていない <p>■円滑な防災・災害情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハザードマップの周知 ・情報伝達システムの整備が必要（デジタル技術を活用したサイレンやスピーカー等） ・避難に差がでないような情報伝達、格差是正 <p>■災害対策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震等の「複合災害」への対応策を講ずべき。そのため、国や都を含む協議会等において、費用対効果等を含めて、意見を聞くべき ・災害ごみの処理方法が問題 ・駅周辺の帰宅困難者対策 <p>■避難場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館等の公共施設をもっといかす ・避難所のプライベート空間確保、間仕切り導入 ・AEDの設置（屋外） ・福祉避難所の認知、行ったら迷惑がかかると思われないようにしていく必要がある ・避難場所を事前に把握しておくことが重要 <p>■避難経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀の安全化 <p>■建物の耐震化、空き家対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧耐震建物の改修・建替促進 ・木造住宅密集地域における道路拡幅、公園整備等 ・空き家対策のための補助金、相談体制の構築 ・公園等のオープンスペースの確保により延焼を防ぐ ・空き家所有者と事業者とのマッチングが必要 ・廃墟となっている都営住宅の解体 	
<p>共通</p>	<p>■地域コミュニティの強化による防犯に強いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会組織の再生（高齢化で機能不全） ・地域コミュニティの形成、顔のみえる関係づくり ・日頃からの近所付き合い、地域のネットワークづくり ・引っ越してきた人、子育て中の若い人、これから長く住んでくれる人が地域コミュニティに入りやすい環境づくり ・顔の見える地域づくり ・「詐欺電話」対策について、市・町内会に有効な役割を期待 ・男性が隣近所に無関心、隣近所に関心を持つことが大事 ・めんどうがらずに声掛けをする ・地域コミュニティづくり、ネイバースデー、おとなりサンデー（渋谷区） 	<p>■子どもたちの見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの見守り活動（通学路、放課後等） ・信頼される学校づくり ・学校をハブにした不審者情報の積極的な共有 <p>■空き家・空き地対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家、空き地の対策・解消（防犯） <p>■防犯システムの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯システムの整備（スマートシティ、防犯カメラ連動） ・道路上への防犯カメラの設置 ・本当に効果的な防犯対策 ・犯罪の抑止 ・防犯カメラを増やして犯罪が減るのか疑問 	
<p>地域の防犯まちづくりを進めるために必要なことは？</p>	<p>■マスタープランへの反映・情報共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの公表、市報等中間報告 <p>■地域の取組みを推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にネットワークをつくる ・カンガルーポケットの普及 ・自主防災組織を有効に <p>■歩いて暮らせるまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて避難できる環境 ・「歩いて暮らせるまちづくり」の視点が大事 ・歩行者優先ゾーンの整備（車は進入禁止） 	<p>■女性の視点で考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の視点が少ない、市民の約半分は女性 <p>■高齢者の方の見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年配の方に声かけ、熱中症の方や病気の方等 ・高齢者世帯の居住実態の把握・支援 ・要介護者の把握（80歳以上の方） <p>■公共機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察・消防署との連携 ・消防団の組織 ・前原町にある独身寮の警察官は、まつり等に参加してくれている ・地域の諸団体や市民の連携（学校、保育園、学童、消防団、町内会、地域包括ケアセンター、公民館、民生委員等） ・自治会、町内会との連携 	

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど
<p>地域コミュニティの維持・創出は交流の場をつくるためには？</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■地域拠点となり得る施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多機能型の市民センターの設置（老若男女） ・図書館等、小さい施設でなく大きい複合施設 ・若者も集まる集会施設 ・市街地再開発による公開空地等を活用したラジオ体操、ヨガ、大学公開講座の開催 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■既存施設（＝小金井らしさ）の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の充実 ・今あるものを上手く活用 ・新しい施設をつくるのは難しい ・大学の活用、セミナーの実施 ・中央大学付属中学校・高等学校を能の場として活用している ・商店会のイベント開催のため、学校等の校庭を開放する ・大学施設の利活用（食堂、図書館、グラウンド、体育館）（東京学芸大学、東京農工大学、法政大学等） ・駅前交流センターがいろいろと使にくい ・大学と連携したスポーツ教室、自由研究 ・文教都市をいかにし、勉強場所、遊びの場、スポーツする場を確保 ・小金井市町内会のPRをしてほしい </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■気軽に集える場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社やお寺の協力もあると良い ・商店街を拠点とした交流の向上 ・屋内でお金がかからずのんびりできる場所が増えると良いと思う ・地域商店街の活性化、再生 ・子ども食堂等による世代間交流の場づくり ・世代間交流の場をつくるためには、遊べる場所をつくる ・集える場、地域包括ケアセンター、空き家活用 ・集会施設を公民館と同様に借りやすくする ・スポーツできる場所の提供（ジョギング、サイクリングコース、バスケットボール（3on3）） </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■空き家活用と地域拠点の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家活用したカフェ、シェアオフィス、リモートワーク等の創出 ・空き家をコミュニティの場へ。事業者と空き家所有者とをマッチングする仕組みづくり ・民家を使ったカフェ、寄り合い場所 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■地域単位のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて暮らせるまちづくりの実現に向け、地域（中学校区）ごとのプランニングが必要 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■リサイクル事業所の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル事業所はやっぱほしい ・リサイクル事業所を市の東西南北につくりシルバーが運営して市民交流スペースを併設する（公民館&リサイクルが併設でも良い） </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■町内会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会再生のため、IT環境強化、若い人も参加しやすい町内会 ・機能していない町内会へのサポートが必要 ・メールでの情報交換 掲示板（市で仕掛けづくり） ・町内の交流の活発化、防災倉庫の充実、災害や子どもの集まりの場の創出 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■町内会の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会再生のため、IT環境強化、若い人も参加しやすい町内会 ・機能していない町内会へのサポートが必要 ・メールでの情報交換 掲示板（市で仕掛けづくり） ・町内の交流の活発化、防災倉庫の充実、災害や子どもの集まりの場の創出 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■拠点施設・機能の広域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接市と連携した協力体制の構築（例：図書館） </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■子供会育成連合会への支援と連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会、子供会等のコミュニティを支える組織のスタッフが減り続けている ・子供会を教育委員会の組織として予算をしっかりとつける ・学校の授業と子供会の体験活動で連携し、子供会以外の子ども授業を通じて興味を持つ ・祭りや行事に参加することで地域の人や歴史を知る </div> </div>
<p>貴重な空間である都市農地をどのように維持・活用していくか？</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■教育活動の場としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地解放（例：園児のいも掘り体験） ・地元農家では小学生のいも掘りに協力している。市内の小学校等の授業として、農業に触れ合う機会をもっと増やしてほしい </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■高齢者の活動の場としての活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人用農園を公園以上につくるべき（事例：ドイツ・フランクフルト） ・シルバー人材センターとの連携を図り、農地貸出、運営委託等を検討してはどうか </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■都市農地の環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地周辺環境対策（土ほり等）に掛かる費用の支援制度創設、国や都と連携した取組みの推進 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■農業と観光の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA観光協会商工会の連携ができていない。小金井の名物をPRしてほしい </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■農産物による地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消（給食、スーパーマーケット）作物を通した世代間交流 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■都市農地（土地）を守る仕組みづくり・農業を営む人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相続で手放す土地を市民農園に転用しやすくする ・新しい道路を整備するために失われる農地があるので止めてほしい ・都市農地を保全するため、市が農家と契約して農園を開き、維持管理を永くできるようにする ・農地の保全 都市が個人農家の自然を管理しているのを拡大していく ・JA等と連携して、後継者育成の仕組みをつくる ・都市農地のビジネス化、運営企業の育成・支援、販路整備 ・農地所有者への支援、後継者問題等の相談相談の支援 ・生産緑地の維持・管理に関して、農業委員会が生産緑地の維持管理に向けた組織づくりを進める。選定、営農を充実させることで近隣トラブルや魅力のアップにもつながる ・農業知識の提供、栽培講座、マイスター紹介・育成 </div> </div>
<p>その他</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■農地以外のみどりも大切に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地以外のみどりも考えよう ・屋敷林や原っぱの維持 ・駅前のロータリーの広場を花壇化して、維持管理のための組織を募集するのはどうか </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■環境対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ、脱炭素へ。エネルギーの地産地消 ・3Rの推進 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康指導の協力をぜひ ・コンサルタントからの提案がほしい（行政へ） ・一人になりたい人の気持ちも尊重して ・道路新設でまちを分断しないでほしい </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■地域コミュニティに関する課題として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得をあげる働く場所づくりを考えたい ・例えば高架下利活用に夜間学習、図書館、趣味起こしを図る ・園庭のない保育園が多い </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■区画整理手法の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園、緑道を整備できる「面整備事業」を担う組合とつくる ・そのための助成金（保留地処分金）制度をつくるべきである </div> </div>

生活環境2

テーマ	将来のまちに求める具体的な意見・アイデアなど
<p>暮らしたい・暮らし続けたいと思えるまちに必要なことは？</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■暮らしの質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のQOLを高める、安全・安心、みどりの分野から ・裏通りをゆったりと歩けるまち（スペース面及び時間的にも） ・まちなかのみどりの景観整備 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■スマートシティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティ化。幅広い層に対応、操作しやすい、便利、安心 ・スマートシティ化の取組 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■現状を維持することが大切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状維持、継続と少しの発展、住環境、子育て環境 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■きれいでマナーの良いまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかの美化（ポイ捨て、路上喫煙、禁止） </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■小金井の良いところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心へのアクセスが便利 ・地域ごとの魅力づくり ・まちと田舎の共存共生 ・心穏やかに過ごせる ・都市計画道路で立ち退きを迫ったり、地域コミュニティを壊さないで </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■働きやすいまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職住近接した環境づくりとして、駅周辺では、オフィス誘致、サテライトオフィス誘致、シェアオフィス誘致、Wi-Fi 整備（DX対応）等が考えられる ・市内全域に Wi-Fi 環境を整備したい </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■まちの魅力を上向きさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様性を受け入れる ・「道の駅」のような施設を地区単位に設ける。広域的な拠点としても運用する（例：八王子市、世田谷区、群馬県） </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■小金井らしさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スローライフ、ゆったりのんびりゆっくり ・ゆっくり過ごせるように ・のんびり暮らせること ・人や建物が集中しすぎない </div> </div>
<p>若年・子育て世代・高齢者や障がいのある人が住み続けられるようにするためには？</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■学習・施設の開放</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校等の空き教室を活用して高齢者が集う場を創出 ・教育施設を活用した生涯学習等 ・地域の拠点としての学校の活用 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■行政のサポート・子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談等の困りごとに対する相談体制の強化 ・地域文庫をやっているが特に市からの助成がない。ボランティアで頑張っている人々をもっとサポートしてほしい ・ひとり親家庭や困っている人のサービスの拡充により、さらに住みやすいまちへ ・家族間トラブル等で家にいられない人がかけこめる場づくり（女性等） ・暮らしを良くする方式として「面整備」が「組合」によってなされるよう、助成すべき </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■高齢者・福祉施設の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人ホームの増設 ・障がい、高齢者施設の小規模化 地域とのつながり ・老人ホームの中に地域に開かれた場所がほしい（カフェ、食堂、集会室等） ・現在整備を進めている保育施設を将来的に老人ホーム等の高齢者施設にリノベーションする等、需要に応じた柔軟な施設整備が必要 ・老人ホーム待ちをしている ・高齢者施設だけでなく、保育施設を併設する等、複合的な機能を持った施設が必要（例：NPO法人地域の寄り合い所また明日） ・高齢者・福祉施設のサービス向上（例：府中市、国分寺市） ・現在、老後は住みにくい、老人施設が良くない ・施設の数が多いが、施設スタッフの関心が低い </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■交流が大切、あたたかみコミュニティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナで子どもとの交流が増えた ・高齢者と若者世代の3世代で一緒に庭でバーベキューをした。お互いに助け合うことが大事 ・自治会、町内会の参加を増やしたい（会費を払わないのに真っ先に来る人） ・交流しやすいまち、生まれ育ったまちだから友人も多い ・小学校の頃、近所の方が小学校の近くで子どもたちに「おはよう」、「さよなら」と声掛けをしてくれた。住民の日常的な声掛けから始まるまちづくり（多世代交流、地域コミュニティ形成、防犯・見守り活動等） ・高齢化への対応、地域で住み続けられるまち </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■バリアフリーなまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー・ユニバーサルデザインの実現に向け、新築建物のバリアフリーの義務化、改修時の補助金、IoTの活用等 ・IoT技術を活用した外国語対応の案内等 ・肉体的なハンディキャップがある方が自然に集える公園の整備 ・心のバリアフリーの推進 ・障がい者対策の実態を明らかにした上で、バリアフリーな施設をつくるべき ・ユニバーサルデザインのまちづくり（ハード・ソフト両面） ・学校等の教育施設の段差解消（バリアフリー化） </div> </div>
<p>その他（新しい生活様式）</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■リモートワークの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議セミナーの効率利用、環境整備 ・12月空き家対策相談会をやる（市と一緒に） ・審議会やワークショップ等もITをうまく活用し、広く市民に情報発信 ・デジタルも必要だがアナログも重要 ・市民参加の機会もリモート環境推進 ・公共施設でWi-Fiが使えない </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>■行政へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が自ら考える、アウトソーシングしない ・市役所サービスの向上、アクセスの向上 ・市の財政の健全化（市税の低減） ・市長は「対話」を大切にしているが、市長も行政も本当の意味で市民と対話すればもっと良いまちになると思う ・インターネット環境を（市HP）高齢者向けに工夫 ・行政職員の自主性、自発性の向上が必要 ・市民協議会で出た意見の都市計画マスタープランへの反映方法を知りたい ・都市計画税の増税 </div> <div style="width: 33%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■市民でつくるまち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政任せではまちづくりはできない。市民（私たち）の関わりが大事 <p>■安全安心</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭あい道路の拡幅／解消 <p>■土地利用・交通環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CoCo バスルートの拡充 ・駅周辺の駐輪場整備 </div> </div>

③ 令和3年度（地域別構想）の開催概要

3地域（武蔵小金井地域、東小金井地域、野川地域）ごとに、地域固有の動向・活動の実態及び将来のまちづくりに向けたアイデアなどについて、グループワークにより、意見交換を行いました。

	実施時期	実施場所	参加人数	実施内容
第4回	令和3(2021)年 6月26日 10:00～12:00	本庁舎 第1会議室	8人	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災・防犯に関わる取組 学校（小学校や大学など）との連携 地域コミュニティ活性化に向けた取組
第5回	令和3(2021)年 6月26日 14:00～16:00	本庁舎 第1会議室	8人	<ul style="list-style-type: none"> これからのライフスタイルに関する取組 歴史、文化、自然の活用方法 経済の活性化に向けた取組
第6回	令和3(2021)年 6月27日 10:00～12:00	本庁舎 第1会議室	9人	<ul style="list-style-type: none"> (第4回 武蔵小金井地域) (第5回 東小金井地域) (第6回 野川地域)



④ 令和3年度（地域別構想）の開催結果

●第4回市民協議会（武蔵小金井地域）

テーマ1:地域の防災・防犯に関わる取組

災害時 対応の周知を丁寧に	災害時の名簿管理
特に、水・トイレ（断水時 の対応策を準備しておくこ とが重要）	通学路が危ない
防災マニュアルが古い	前原町では裏道を車が通り 抜けするため危険
存続させる方法の検討が必要	南北の車の移動で通り抜け 車両が多い（朝・夕）
救急医療災害支援情報キット を活用することが大事 （地域福祉課）	魅力的な自治会づくり
各主体の計画の共有が必要	防災アプリの活用
「自分事と他人事をつなげ る」意識	JCOM等、メディアとの連携
	団地・マンションの防災対 策が重要
	SNSを活用した情報発信

テーマ2:学校(小学校や大学など)と市民との連携

学校の防災マニュアルと行 政計画が整合	地域と学校内の多世代交流 の場づくりが必要
各主体の連携が必要であり、連携して初めて防災・防犯に 関わる取組につながるのではない	

テーマ3:地域コミュニティ活性化に向けた取組

信頼関係をどうつくるか →市がやると信頼性が高い	コミュニティが情報発信・ 交流するための行政支援が 不足
高齢者対応見守りシステムの 導入	学芸大は、プレイパークがあ り、イベントもいっぱいやっ ている
高齢者を見守る通信機器の 設置	地域コミュニティの町会な どに市外で働く人、学が人 （若者・中年）、住んでい る人が参加しないという課 題
子育て世代と高齢世代のつ ながりが必要	コミュニティ活動のための ウェブサイトをつくる計画 があったらいいようになった のか知りたい
SNSを通じたコミュニティの 有効活用	市民ホールで、もっと勉強 できるような机をおくべき
高層マンション住民との交 流が必要	南口マンション前の広場 2つあると思うがイベント などで連携しないのか
若い世代が参加しやすい集 まり	空き家→柿の木 楽しいもの、もったいない
子どもに任せてみんながつ ながる （子どもが動けば親も動く）	集会場は子どもたちの勉強・ 集まる場
空き家だけでなく空き家の 庭の植物も空地も緑地とし ていかすべき	学校のみどり 学校×市民 もっと誇りに思うべきそこ を使う
小さな公園など、たまり場が ない	
大学のみどりを有効に活用し ていない	

テーマ4:これからのライフスタイルに関する取組

小金井の魅力をもとめるのと 時代の流れ的には自然環 境。自然が人を結びつける 仕組みが大事	武蔵小金井のテーマは 個性をつけたい。駅を降り たら「ああ、こんなまち ね」と見えるくらい
駅北口再開発、壁面緑化 こういうまちだと分かる個 性が大事	再開発の公開空地は、南北 連携できると良い 道路を含めた一体的なイベ ント開催
年寄が増加、病院通院時は 近隣で補完	SNS等の情報発信 善と悪の使い分け

テーマ5:歴史、文化、自然の活用方法

小金井市内の神社仏閣コー スを考える	みどりの保全 都の自然環境 50 選とうまく マッチングさせる →農地活用（中町）
公園管理に方針を どういう公園にしたいかない まま花壇がつけられている	みどりをつなげていく →文化財を連携していく
地域だけでなく近隣市や東 京都と連携した運用（小金 井公園）	大通りのみどりを育てる 小金井街道モクレン 連雀通り：ヤマボウシ ：大きく育ててほしい
神社を回遊する仕組み （子どもたちにも知って もらう）	宅地のみどりを育ててもら う ・補助金、苗の支給 ・管理サポート
みどりは水と一緒に考えて いく みどりを育てるには水が必要	

テーマ6:経済の活性化に向けた取組

小金井の水のきれいさを知 りたい人が多い もっといかしていく	小金井のまちの特徴を子ど ものころから知る機会がな い
生活の場だけでなく遊びが できる場が必要 （温泉施設等のレジャー施 設）	公教育での地域史のしっか りとした教育を
宅地化を防ぐために行政が みどりを買い取るのはどう か	小金井がどういう土地でど のようにできてきたのか知 ることが重要（玉川上水・ 広葉樹）
緑地が宅地になる⇒規制が 必要	はげの森美術館・ジブリの 映画の風景→発信する 必要

●第5回市民協議会（東小金井地域）

テーマ1:地域の防災・防犯に関わる取組

地域によっては、町会や自治会組織だけあり、リーダーがいらないところもある	五日市街道を整備しないとイケない
町会でなく別の組織検討	西武多摩川線の側道狭くて危ない
	二枚橋の坂に続く道が狭い・危険

テーマ2:学校(小学校や大学など)と市民との連携

組織づくり支援が必要	公務員のOBの方にリーダーを
大学もっと地域に広げてほしい	地域の横のつながりを強くするためには、行政からの支援(サポート)が必要
既存のイベントに防災イベントを組み込むことで、多くの方が防災の取組を体験できるようになるのではないか	
避難行動だけでなく、避難施設での生活を1泊して体験する防災キャンプのようなものを企画してはどうか(実践的な訓練)	

テーマ3:地域コミュニティ活性化に向けた取組

町会が入っていないけど、近所付き合いしている(子供会とか)子どもからのつながりのコミュニティがあると良い	コミュニティの広がり方→NPO etc...をうまく使う
公園を活用したイベントを開催できると良い	町会で運動会やっている。行事・祭り楽しめるものを増やす必要

テーマ4:これからのライフスタイルに関する取組

コミュニティの活性化のために、小金井の特徴である自然と親しむこと、農園の作業等を通じた活動	高架下のイベントを通じた交流が必要(JRなどとの連携)
高齢者が、散歩や買い物の途中で腰をおろして休めるような小さいベンチなどをおく場所を増やせないか、ブランクの地域に	相続に伴う棄化・宅地化を抑えることが必要
市民協議会の案内、パブコメ、イベント等情報発信が弱い。SNSなどを活用し市民参加を促進することが重要	運動する場も少ない
コミュニティを活性化するためには図書館・公民館などの施設が必要。交流できる場所が必要	共用施設を増やしてほしい(会合等の集まり)
	図書館分館をつくることに賛成
	図書館の新設

テーマ5:歴史、文化、自然の活用方法

東小金井~小金井公園桜並木を整備	回遊できるように
東小金井駅南北を縦断できるように	樹林畑が住宅地になるのであれば、アスレチック、公園化で活用
農家による庭先販売と取組へのサポートが必要	保存樹林・屋敷林の保全と折り合いが必要
市民農園など市民と連携した農地は多いが、PRが足りない	景観形成に気を付けないと
じゃがいも掘りだけでなく、学校と農家の連携がさらに必要だと思う	古代の遺跡ICUの博物館などの活用
公園のみどりの整備の悪さが交通のさまたげに	歴史仏閣の訪問ツアー
	まちを楽しむための仕掛けづくり

テーマ6:経済の活性化に向けた取組

高架下の店舗とも連携したイベント	商業関係者の意見を直接聞くことが大事
------------------	--------------------

●第6回市民協議会（野川地域）

テーマ1:地域の防災・防犯に関わる取組

防災施設の整備が必要 (老朽化対策など)	避難所(学校等)のトイレ を和式から洋式にしてほしい
防災の道具が町内にない	
防災に強いまちづくりとして、道路の整備だけが方法ではなく、例えば消防団をもっとつくる 小型の消火設備(ポンプ車等)を配備するなど代替案が考えられる	
西武線の陸橋(避難路) →災害時に崩落の危険性あり 防災計画の見直しを	【東小金井地域】西武多摩 川線の側道の使い方(消防、 ごみ、生活)の調整が必要
前原小、校庭の下は河川(野川) →避難時陥没の心配	

テーマ3:地域コミュニティ活性化に向けた取組

地域交流できるイベントを 行政がフォロー	SNSを活用したゆるめのつながり
野川を軸にしたコミュニティ	
(地域)町会として子どもを育てる仕組みづくりを ⇒ならば町会に入る気持ちがおこるかも	

テーマ4:これからのライフスタイルに関する取組

はげの森美術館、ムジナ 坂、武蔵野婦人、著名な文化 をアピールして地域活性化 につなげる	スポーツできる空間を増やし、 市民の交流を増やす
街灯の整備 夜に公園でジョギングしたら 真っ暗だったので	市内全域を自転車で移動できると 良い
	公園内にリモートワークオフィス 設置 →ノートパソコンを使っている 人をよく見かける

テーマ5:歴史、文化、自然の活用方法

宅地化によるみどりの減少 を防ぐための制度(優遇措置)	水の大切さを知る必要
栗林、農地がなくなっている →地主と市役所の情報共有	自然をいかしたまちづくりで、 小金井市への移住をうながす →地域の活性化につなげる
野川と水とはげの森	野川の遺跡 ICU NO.15の遺跡などの遺跡 巡りで自然環境を学ぶ
湧き水がなくなっている ↑ 遊歩道等 川について学ぶ場	市民だけでなく多くの都民が 集える場所としてPRしていく

テーマ6:経済の活性化に向けた取組

公園ごとのイベントを一覧 できるものを整備してほしい	「これなら小金井は勝てる」という、 周辺自治体より個性ある産業を 育て、強みをつくる
自然の保全だけでなく、活用も 一緒に考える必要がある ・癒し・森林浴 ・パワースポット それに見合った環境整備	小金井のウリになる産業を 育てる

(3) 中学生アンケート・検討会

まちの将来を担う中学生の意見を把握するため、アンケート調査を実施し、アンケート調査の結果を踏まえて中学生検討会を開催しました。

① アンケート調査概要

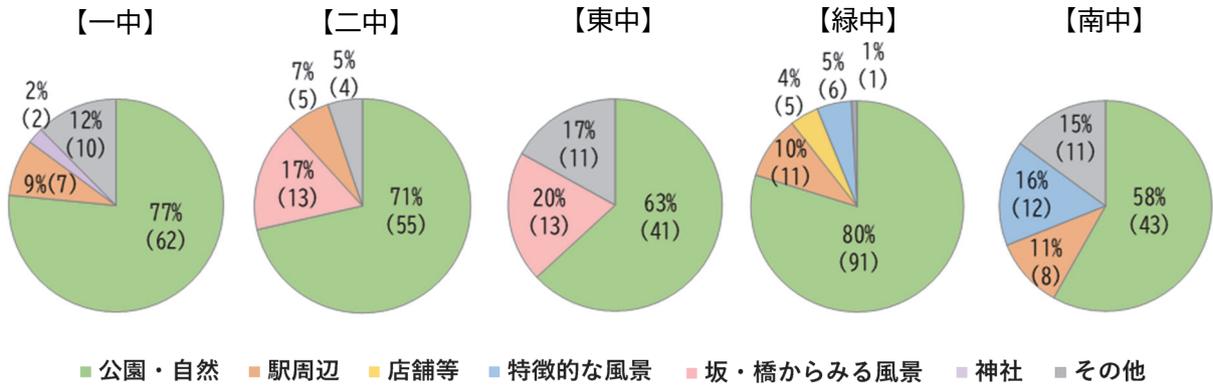
市内市立中学校の2年生を対象に、中学生の視点からの小金井市の「好きな点・魅力」、「不満・改善点」、「将来像」についてアンケートを実施しました。

実施時期	令和2(2020)年11月24日～令和2(2020)年12月3日
調査対象	小金井第一中学校、小金井第二中学校、東中学校、緑中学校、南中学校の中学2年生全員
調査方法	各校配布、各校回収
配布数	686件(一中:152、二中:129、東中:92、緑中:179、南中:134)
回答数	637件(一中:138、二中:122、東中:86、緑中:172、南中:119) 回収率:92.9%
調査内容	【問1-1】小金井市(まち)の「魅力」について (好きな場所や風景、〇〇が良い・〇〇が好き)
	【問1-2】小金井市(まち)の「課題」について (困っている点、不便・不満に感じている点・改善してほしい点)
	【問1-3】新型コロナウイルス感染症を伴う生活を経験して、みなさんが感じたこと (不便に感じたこと、困ったこと、良さを再確認したこと)
	【問2】将来の小金井市のイメージ(残していきたいもの、今後こうなってほしいもの)
	【問3】みなさんが思い描く、将来の小金井市(まち)のイメージ(一言、キーワード)

② アンケート調査結果

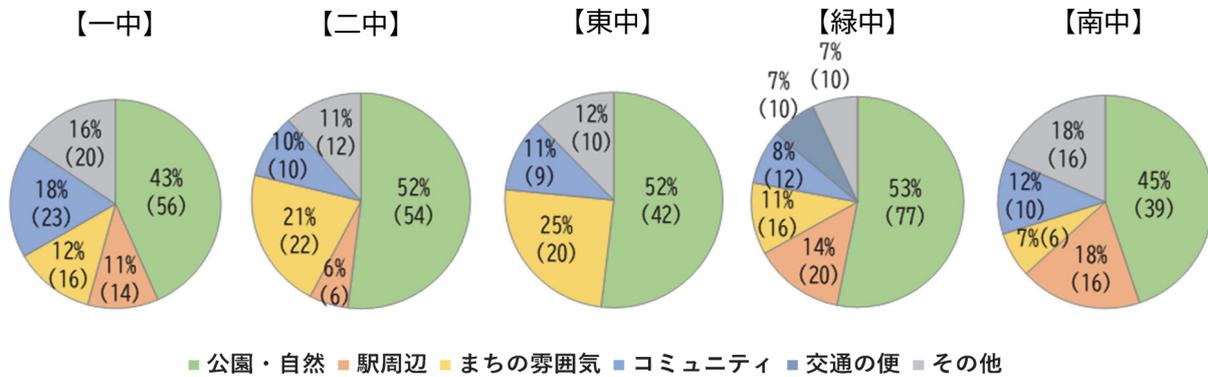
【問 1-1】みなさんが普段感じている小金井市(まち)の「魅力」について、お伺いします。

(1)小金井市(まち)のなかで「好きな場所や風景」はありますか？(件数)



学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	小金井公園(46)、桜(16)、野川(12)	稲穂神社、駄菓子屋こまち、 滄浪泉園、みどりの景色
二中	野川公園(31)、小金井公園(10)、 坂・橋・階段(10)	観音坂から下る途中の景色、くじら山、はけの 道、野川等の森っぽい感じ、坂下の雰囲気
東中	野川公園(25)、小金井公園(18)、 新小金井駅(6)	ムジナ坂からの富士山、ヒガコ・サマーフェス ティバル、イチゴ橋からみる電車、80 階段から見え る富士山・夕日
緑中	小金井公園(77)、桜(17)、自然(8)	玉川上水、五日市街道の桜、 紅葉、浴恩館公園
南中	野川(28)、小金井公園(11)、桜(11)	貫井トンネルからの夕日・景色、春の弁天橋付近 の景色、はらっぱ祭りの風景、プレーパーク

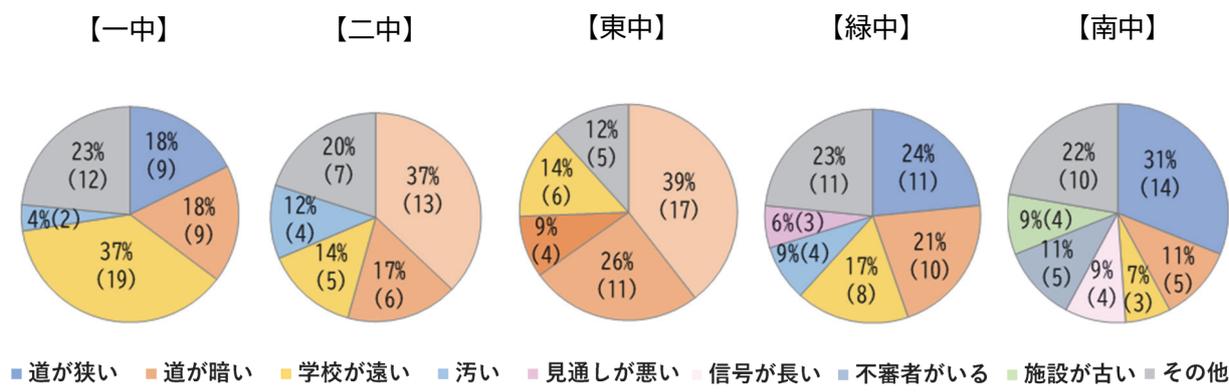
(2)その他、小金井市(まち)の「〇〇が良い、〇〇が好き」なところを教えてください。(件数)



学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	自然(18)、みどり(12)、桜(10)	ジブリの舞台、みどりが多く都会すぎない、 水がおいしい、空気がきれい、阿波踊り(祭り) の雰囲気
二中	自然(42)、桜(7)、公園・静か(6)	野川の静けさ、のんびりした、のどかな雰囲気、 はらっぱ祭りが好き、大学の進学先が多い
東中	自然(38)、公園(20)、田舎(11)	近所の人フレンドリー、 発展しすぎていない
緑中	自然(56)、お店が多い(22)、 自然と都会の両立(11)	森や畑が多い、ゆったり人が暮らしている
南中	自然(36)、桜(7)、 平和・治安良い(5)	野川の水がきれい、生き物が多い、 治安が良い

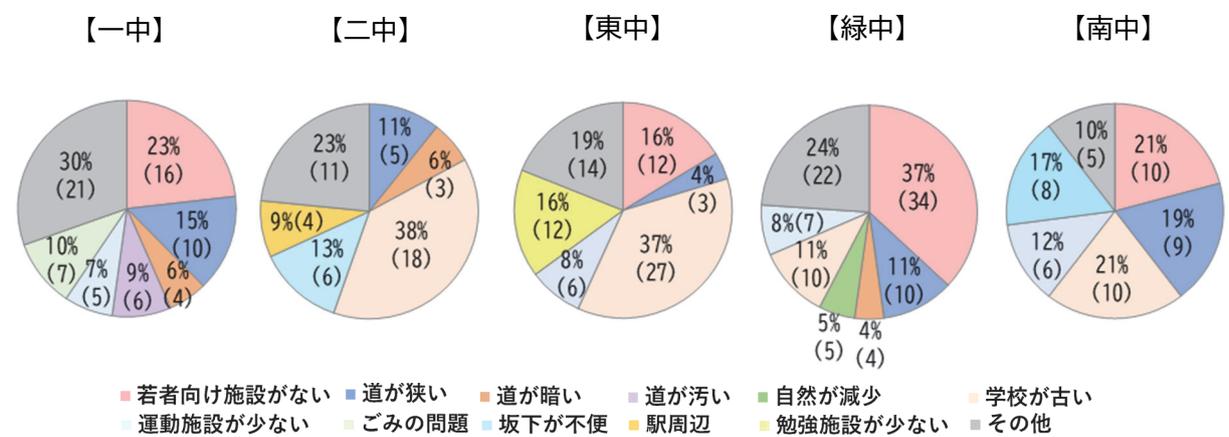
【問 1-2】みなさんが普段感じている小金井市(まち)の「課題」について、お伺いします。

(1) 普段の通学で「困っている点」などはありますか？(件数)



学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	学校が遠い(19)、危険・危ない(12)、暗い・街灯が少ない(6)	ナンジャモンジャ通りの歩道が狭い、曲がり角が急でミラーのない交差点、仙川のポイ捨てが多い
二中	道が狭い(12)、道が暗い(6)、坂(5)	小金井神社の横の街灯が少なく暗い、白伝坊の坂の信号待ち時間が長い、スポーツできる公園が少ない、学校の校舎が古い
東中	道が狭い(12)、道が暗い(11)、信号(5)	学校まで遠い、自転車通学を許可してほしい
緑中	道が狭い(9)、道が暗い(8)、見通しの悪い曲がり角(4)	学校3階のトイレが臭い、三小前に喫煙所があり暗くてたむろしている人が怖い
南中	道が狭い(6)、不審者(6)、道が暗い(5)	本屋がない、カーブミラーがない、南中の西門を開けてほしい

(2) 小金井市(まち)に住んでいて「不便・不満に感じている点・改善してほしい点」はありますか？(件数)

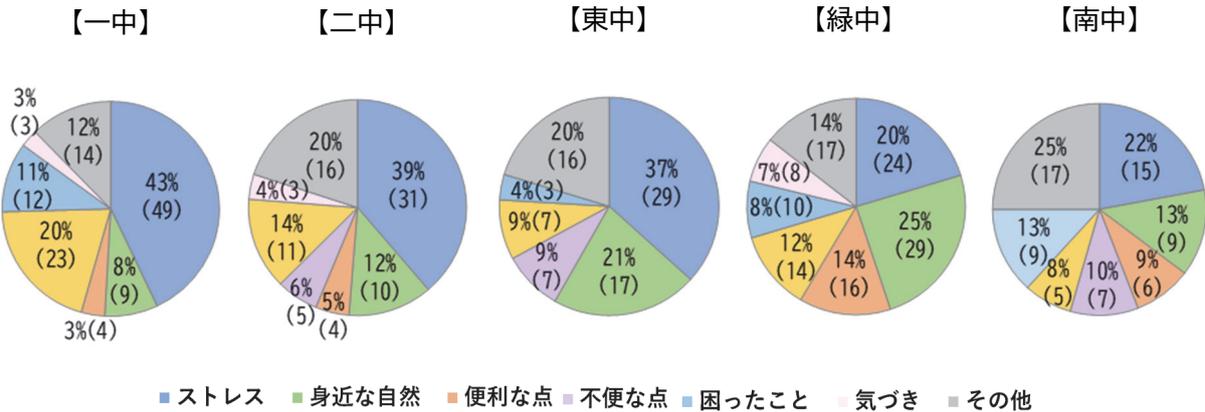


学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	遊ぶ場所や施設が少ない(9)、ごみ(9)、道が狭い(7)	サッカーできる場所が少ない、自由に座り・自由に遊べる場所が少ない、駅前の喫煙所が臭い
二中	トイレが汚い(10)、道が狭い・暗い(9)、学校が古い(8)	体育館にエアコンがほしい、坂下に店舗がない
東中	トイレ(26)、店が少ない(10)、公共施設(5)	大きな図書館がほしい、自習室・勉強する場所がない、バレーボールコート、映画館がほしい
緑中	ショッピングモール(9)、トイレ(7)、遊ぶ場所がない(7)	ボールを使って良い公園が少ない、家や建物が増えて自然が減ってきている、日陰がほしい
南中	道が狭い(22)、遊ぶ場所(10)、坂(9)	ボールが蹴れる公園がほしい、陸上競技場、体育館、バスケットコートを身近に増やしてほしい

小金井市都市計画マスタープラン

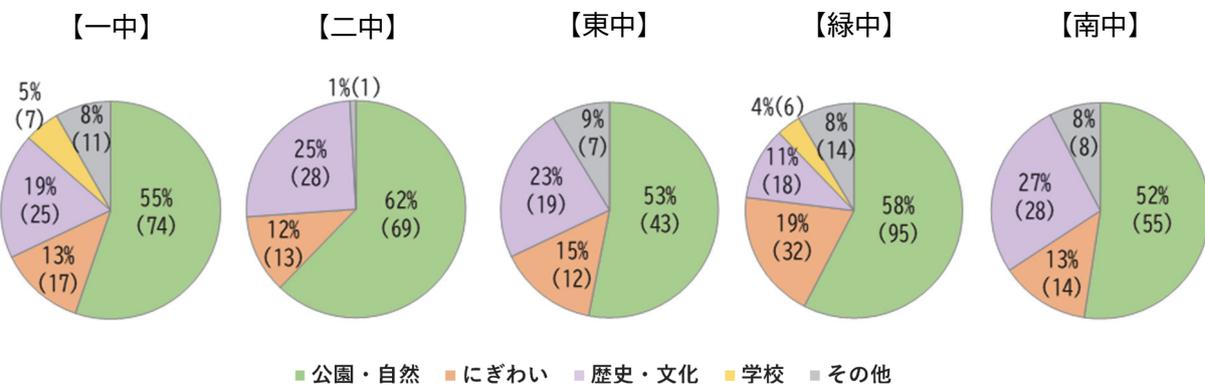
【問 1-3】新型コロナウイルス感染症に伴う生活を経験して、皆さんが感じたことについてお伺いします。

(1)「不便に感じたこと、困ったこと」や「良さを再認識したこと」を教えてください。(件数)



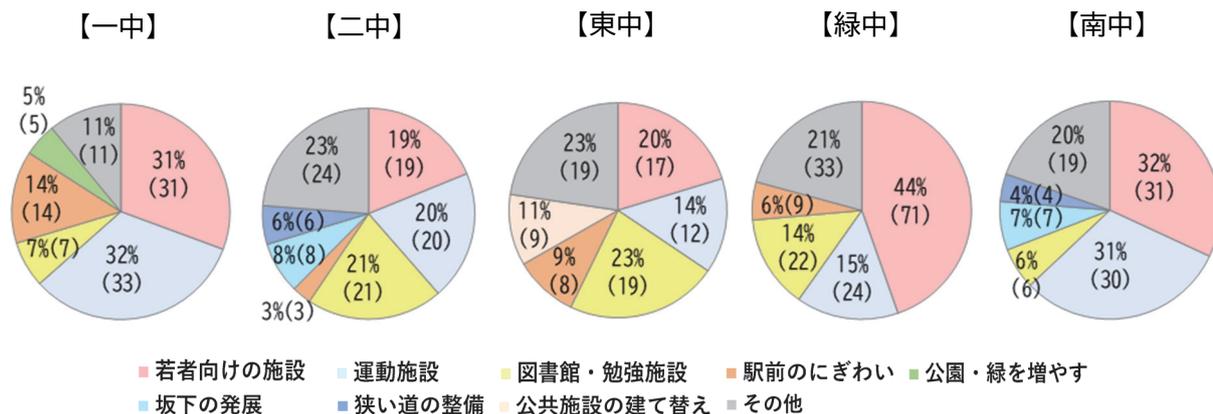
【問 2】将来の小金井市(まち)に「残していきたいもの」、「今後こうなってほしいもの」は何ですか？

(A)将来の小金井市(まち)に「残していきたいもの」は何ですか？(件数)



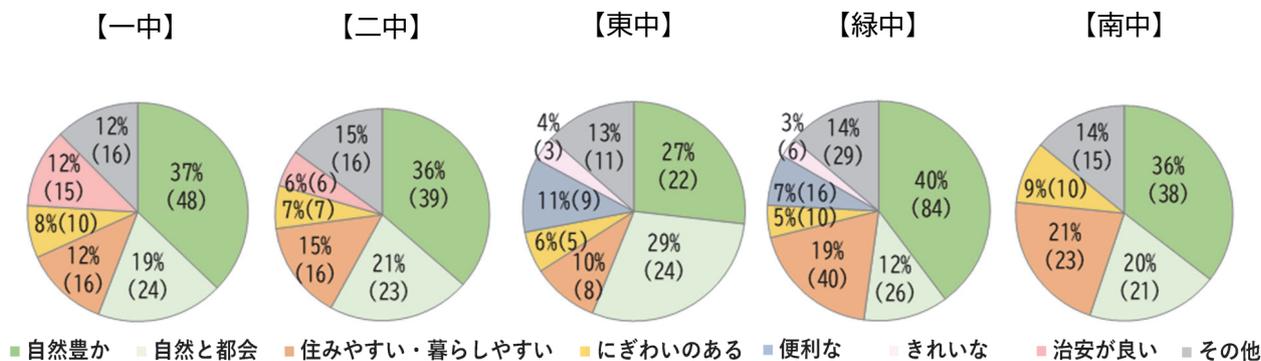
学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	小金井公園(35)、桜(25)、自然(19)	玉川上水・五日市街道、仙川の桜、黄金の水
二中	小金井公園(39)、野川(31)、阿波踊り・祭り(15)	ムジナ坂、坂下の自然、小金井神社、林・森
東中	自然(34)、小金井公園(23)、野川公園(17)	蛍が見られるはけの森や野川公園、ヒガコ・サマーフェスティバル、趣きのあるまちなみ
緑中	小金井公園(104)、野川公園(22)、武蔵野公園(9)	ジブリ、花火大会、阿波踊り、裏道、商店街
南中	桜(25)、小金井公園(23)、祭り(20)	はけの道、貫井神社、くじら山の祭り、散歩道

(B) 将来の小金井市(まち)に「今後こうなってほしいもの」は何ですか？(件数)



学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	スポーツ施設(29)、公園(15)、映画館(10)	仙川に水が流れているところをみたい、勉強して遊べる図書館、自習室、自由に使える体育館
二中	図書館(22)、スポーツ施設(11)、遊べる場所(8)	農工大通りを広くしてほしい、坂下に自習室、自然を壊さないでほしい、本屋
東中	図書館・勉強施設(23)、映画館(23)、ショッピングモール(19)	武蔵野プレイスのような図書館、体育館のクーラーを全ての学校にほしい、みんなで遊べる体育館(トランポリン、ボールリング、ボルダリング、バスケ、バレーなど)がほしい
緑中	東小金井駅の活性化(22)、ショッピングモール(21)、映画館(16)	連雀通り・小金井街道の歩道を広げてほしい、勉強・読書できる自由な施設、大きな図書館
南中	スポーツ施設(24)、遊べる場所(19)、映画館(10)	坂下に大きな図書館・本屋・文房具店がほしい、坂下の道の整備、ジブリの舞台になった場所を観光名所にしてほしい、球技スポーツができる施設や広場がほしい

【問3】みなさんが思い描く、将来の小金井市(まち)のイメージを教えてください。(件数)



学校	多かった意見 (件数)	特徴的な意見
一中	自然豊かな(48)、自然と都会(24)、住みやすい・暮らしやすい(16)	四季の変化がよく分かるまち、のんびりしたまち
二中	自然豊かな(39)、自然と都会(23)、住みやすい・暮らしやすい(16)	蛍の住む都会、何にもなくてつまないけど都会に行くと小金井に帰りたくなるまち、落ち着くまち、自然や伝統を大切にするまち
東中	自然と都会(24)、自然豊かな(22)、便利な(9)	自然豊かで美しいまち、静かなまち
緑中	自然豊かな(84)、住みやすい・暮らしやすい(40)、自然と都会(26)	四季によりまちの色が変わるまち
南中	自然豊かな(38)、住みやすい・暮らしやすい(23)、自然と都会(21)	スポーツ・勉強・遊ぶことがたくさんできるまち

③ 中学生検討会開催概要

アンケート調査の結果を踏まえて、市立中学校2年生の代表者がグループワークにより、意見交換を行いました。

実施時期	実施場所	参加人数	実施内容
令和3(2021)年 3月29日 10:00 ~ 12:00	市民会館 (萌え木ホール) 会議室	市立中学校2年生の 代表者15名 (一中:4名、二中:3名、 東中:3名、緑中:2名、 南中:3名)	・中学生アンケート調査結果の意見共有 ・将来の小金井市(まち)に求める視点について意見交換



④ 中学生検討会の開催結果

Aグループ

「都会といなかのハーフなまち」
～活気と暮らしやすさが一体化された、文化・歴史とデジタルのハーフ（新旧の共存）～

一中 二中 東中 緑中 南中

将来のまちに“残していくもの”	将来のまちに“今後あってほしいもの”
<p>■地域の文化と歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神社を残す ・阿波踊り ・阿波踊り文化 ・ヒガコ・サマーフェスティバル（祭り） 	<p>■ボールが使えるスポーツのできる公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ公園 ・サッカー、バスケのコート、体育館 ・小さい子や高齢者の方も使える ・運動できる施設（坂上・坂下） ・ボールが使える公園 → 小さい子も遊べる ・ボールが使える公園 → 歩道を増やす、広げる
<p>■昔から大切にされてきた小金井市の自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然 小金井公園 野川公園 武蔵野公園 桜並木 はげの道 など ・野川公園 ・小金井公園の自然 ・野川がきれい、今の時期は特に ・小金井公園などの大きな施設を残す ・小金井公園 ・公園 ・みんなが集まれる ・季節を感じることができる ・小金井桜 ・昔から大切にしてきた 	<p>■図書館・カフェ・映画館などの若者向けの整備を望む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂下にいろいろな施設ができてほしい（例、勉強スペース、カフェ、映画館など） ・小金井市の東側に図書館（自習スペース）がほしい ・坂下に図書館がほしい ・勉強して遊べる図書館 ・坂下に商業施設がほしい
<p>■にぎわいの創出（地元のお店と大型ショッピングセンター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ソコラ、イトーヨーカドー ・武蔵小金井駅のにぎわい ・特徴の多い店 ・地元のお店 ・江戸東京たてもの園 ・駄菓子屋こまち ・昔の良さ 	<p>■デジタル社会に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル社会に対応できる環境整備 ・インターネットの整備
<p>■都会と自然の共存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北は都会 ・南は自然 ・はげ ・都会と自然の共存 ・坂下（南） ・狭い道（趣きがある） 	<p>■駅前のにぎわい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小金井をもっと発展させてほしい ・武蔵小金井駅北口の発展
<p>■都会を強化、自然を残す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい雰囲気駅前 ・イオンなどの大型ショッピングモール ・若者向け施設（映画館、ショッピングモールの増加） 	<p>■安全性が確保された道</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新小金井街道と小金井街道の抜け道の車通りが多い ・車両にあわないような道路空間
<p>■暮らしやすい環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治安のよさ ・暮らしやすさ ・コンクリートに囲まれるだけでなく、自然と触れ合える環境 	<p>■安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校（東中）周辺が暗い ・危険なところをなくす → 街灯の整備
	<p>■施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が古いので建替え <p>■ごみ減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減少

一中 二中 東中 緑中 南中

将来のまちに“残していくもの”	将来のまちに“今後あってほしいもの”
<p>■公園・自然</p> <ul style="list-style-type: none"> 野川公園 小金井公園の自然 小金井公園 野川公園 皆が集まれる 季節を感じられる はけ など 自然×都会の共存 小金井公園 (ジブリのモデル) ジブリ誇れる 野川の風景 自然公園 (小金井、野川、武蔵野) 小金井公園 →自然がいっぱいある →運動施設がある →ボールを使ってOK! →コロナで行く機会増 小金井桜 浮世絵など昔から大切にされてきた 暮らしやすさ コンクリートは息苦しい 自然と触れ合える環境 仙川に水が流れているところを見たい 小金井公園の大きな施設(サッカーコート、遊具、サイクリングコース)を残す 	<p>■図書館・自習スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂下に図書館 市の東側に自習スペース 自習スペース(高架下のスペース活用) できればWi-Fiつけてほしい 大きい図書館(武蔵野プレイスみたいな自習スペース) 坂下に勉強スペース、お店、本屋、公園を増やしてほしい 勉強・自習ができるスペース 図書館などで仕切りがほしい
<p>■風景・ゆったり</p> <ul style="list-style-type: none"> 神社を残す 治安の良さ はけ 美術館、道 特徴の多い坂 ゆったり ひろびろ のんびり 	<p>■Wi-Fi環境(コロナ)</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネットが使える環境 安全・安心 街灯・廃墟 危ないところをなくす 歩道が狭い・暗い 道路が狭くて危ない デジタル社会に対応した環境の整備 事故にあわないような道路空間 歩道を広くしたい →狭い道は自転車怖い
<p>■お店(昔からある小さなお店も)</p> <ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅 にぎわい 武蔵小金井駅前のお店(イトーヨーカドー) 東小金井駅に大きいお店がない 地元のお店 江戸東京たてももの園 駄菓子屋こまち →昔の良さを残す イトーヨーカドー 	<p>■駅前</p> <ul style="list-style-type: none"> 武蔵小金井駅北口の発展 イオン ソコラ 坂下に商業施設 若者向けの施設 映画館とか増やしてほしい 駅前(東小金井)のにぎわい 大きな施設、駅前の再開発 若者が集まれるスペースがほしい 楽しい空間を持つ駅前(休憩できるスペース) 映画館 大型ショッピングモール(イオン・ららぽーとなど)
<p>■イベント・お祭り(まちの伝統・個性)</p> <ul style="list-style-type: none"> おまつり、行事、イベント コロナでなくなった さみしい。かなしい ヒガコ・サマーフェスティバル 阿波踊り ムサコ周辺 文化を残すこと =まちの個性 阿波踊り 	<p>■公園・スポーツ広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ボールが使える公園 坂上や坂下に球技スポーツができる施設や広場、アスレチックがほしい 坂上も坂下も運動できる場所(遊べる環境が少ないとゲームばかりになってしまい、健康的でない)
	<p>■公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 古い設備(施設)を新しく

一中小 二中小 東中 緑中 南中

将来のまちに“残していくもの”	将来のまちに“今後あってほしいもの”
<p>■自然・のびのび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小金井公園 ・コロナで公園に行く事が増えた ・広いスペース ・野川公園・小金井公園などの自然 ・小金井公園 ・野川公園 ・みんなが集まれる ・季節を感じられる ・自然 ・趣きがある ・落ち着く ・小金井公園の大きな施設を残す ・幼児の子が遊びやすく中高生も運動できる ・桜や野川等の景色 ・自然が本当に良い（このまま） ・小金井桜 ・昔から大切にされてきている ・崖（はけ） ・都会と自然の共存 ・小金井公園 ・野川公園 ・武蔵野公園 ・栗山公園 ・桜並木 ・きれいな町をいろいろ ・玉川上水 ・ゆったり ・のんびり（のびのびしている） ・ひろびろ 	<p>■安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道を広く ・狭い道は自転車と歩行者がぶつかってしまう ・危険なところをなくす ・廃墟等（北口方面、小金井市市営住宅） ・街灯 ・街灯をつけてほしい ・道路が狭くて危ない ・歩車分離をしたい ・歩道（連雀通り）を増やしてほしい ・道が狭い。危ない ・事故にあわないような道路空間 ・坂下に商業施設がほしい
<p>■文化・歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おまつり・行事・イベント ・コロナで中止になってかない ・阿波踊り ・文化を残すことはまちの特色になる ・江戸東京たてもの園 ・駄菓子屋こまち（昔の良さを残す） ・ヒガコ・サマーフェスティバル ・小さい頃からのまつり ・ジブリ誇れる ・阿波踊り ・はけの森美術館 ・自然の一部のような感じ ・神社等が多いのでこの先も残していきたい ・初詣の雰囲気が良い（貴井神社） 	<p>■学習スペース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東側に自習スペース ・武蔵野プレイスがコロナの影響でダメだった ・あまり発展していない ・大きな図書館 ・自由に使える自習スペース ・中学生だけの空間 ・勉強できる図書館 ・高架下の有効活用 ・中学生向けのスペースがほしい ・坂下に図書館がほしい
<p>■にぎわい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武蔵小金井駅前のお店 ・イトーヨーカドー・ソコラ・自転車で行ける ・武蔵小金井駅のにぎわい ・地元のお店 ・ソコラ等、駅が発展し始めているのでこのまま ・人口をもっと増やしていきたい ・イトーヨーカドーは、ソコラよりも中学生が遊びやすい ・ソコラ ・大人向け施設が多い気がする 	<p>■遊び（にぎわい）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しい空間を持つ休憩できるような駅前 ・大型ショッピングモール ・友だちと遊べる ・若者向け施設 ・カフェ、洋服店など ・府中や坂上まで行くのが遠いため、坂下にも映画館や店、勉強スペースがほしい
<p>■治安</p> <ul style="list-style-type: none"> ・治安の良さ <p>■地形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴の多い坂 <p>■暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしやすさ ・コンクリートに囲まれているのではなくみどりにあふれる <p>■駅前（住みやすさ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東小金井駅を活発に ・住んでいる人が便利になるといい ・武蔵小金井駅北口の発展 	<p>■遊び（みどり）ボール遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・球技ができる施設がもっと増えてほしい ・中学生ができるところをもっと ・ボールが使える公園・広場 ・公園を残してほしい <p>■キレイに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仙川の流れるところがみたい ・ごみが溜まっている <p>■公共施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールが使える公園がほしい ・公共施設を新しくしたい <p>■デジタル対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル社会に適した環境整備 ・近代化が進んでいるのでインターネットを！ ・学校の課題が大変

(4) パブリックコメント

小金井市市民参加条例第15条の規定に基づき、令和2年度は都市計画マスタープラン中間報告案について、令和3年度は都市計画マスタープラン素案について、市民の提言制度（パブリックコメント）を実施しました。

① 小金井市都市計画マスタープラン中間報告案

実施時期	令和3(2021)年2月16日～令和3(2021)年3月18日
意見提出方法	直接持参、郵送、ファクス、電子メール
意見提出人数	243人
延べ意見数	332件

② 小金井市都市計画マスタープラン素案

実施時期	令和3(2021)年12月15日～令和4(2022)年1月21日
意見提出方法	直接持参、郵送、ファクス、電子メール、専用フォーム
意見提出人数	314人
延べ意見数	430件



中間報告案



素案

(5) 市民説明会

都市計画マスタープラン中間報告案及び素案について、市民説明会を開催しました。

① 令和2年度

都市計画マスタープラン中間報告案について、動画を活用した資料説明及び質疑応答を実施しました。

実施時期	実施場所	参加人数
令和3(2021)年2月27日 14:00 ~ 15:30	東小金井駅開設記念会館（マロンホール）会議室	15人
令和3(2021)年2月28日 10:00 ~ 11:30	小金井市民交流センター （小金井 宮地楽器ホール）大ホール	27人
令和3(2021)年3月2日 18:00 ~ 19:30	市民会館（萌え木ホール）会議室	6人
令和3(2021)年3月13日 18:00 ~ 19:30	市民会館（萌え木ホール）会議室	7人



小金井市都市計画マスタープラン

② 令和3年度

都市計画マスタープラン素案について、動画を活用した資料説明及び質疑応答を実施しました。

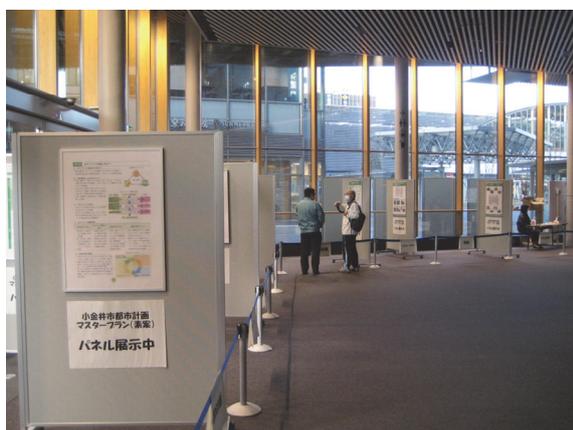
実施時期	実施場所	参加人数
令和3(2021)年12月22日 19:00 ~ 20:30	小金井市民交流センター（小金井 宮地楽器ホール） 小ホール	10人
令和3(2021)年12月25日 14:00 ~ 15:30	市民会館（萌え木ホール）会議室	14人
令和3(2021)年12月26日 14:00 ~ 15:30	東小金井駅開設記念会館（マロンホール） 会議室	10人



(6) まちづくりサロン・パネル展示

これまでの小金井市のまちづくり及び市が考えるまちの将来像などについて、市民と意見交換・懇談を行う場として、まちづくりサロン・パネル展示を実施しました。

実施時期	実施場所	参加人数
令和3(2021)年12月22日 14:00~21:00	小金井市民交流センター（小金井 宮地楽器ホール） マルチパーパススペース	22人
令和3(2021)年12月23日 10:00 ~ 20:00		30人
令和3(2021)年12月25日 10:00 ~ 16:00	小金井市商工会館 会議室	13人
令和3(2021)年12月26日 10:00 ~ 16:00	東小金井駅開設記念会館（マロンホール） ギャラリー	10人



4 用語解説

	用語	解説
あ 行	新たなモビリティ	自動運転、超小型モビリティ、オンデマンド交通などの新たな移動手段
	インキュベーション	事業の創出及び創業を支援するサービス・活動。起業などの際、不足する資源を提供し、その成長を促進することを目的とする取組
	一時避難場所	災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所
	雨水浸透施設	「雨水浸透ます」及び「雨水浸透管」など雨を地中へ浸透させるためのます及び管などの施設
	エコセメント製品	ごみを燃やした後に残る焼却灰を原料としてつくるセメントのことで、日本工業規格（JIS）に定められた土木建築資材
	エリアマネジメント	地域における良好な環境及び地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者などによる主体的な取組
	延焼遮断帯	市街地火災の延焼を阻止する機能を果たす道路、河川、鉄道、公園などの都市施設及びこれらと近接する耐火建築物などにより構成される帯状の不燃空間。震災時の避難経路、救援活動時の輸送ネットワークなどの機能も担う。
	温室効果ガス	地球温暖化に影響を及ぼす二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素及びフロンガスなど
か 行	環境美化サポーター	環境美化に対する意識向上を図るため、身近な公共空間である公園、道路などの環境美化活動について市民がボランティア活動を実施する制度
	環境保全緑地（環境緑地・公共緑地）	現状のまま保全されることが確約される樹木の集団（農地上にあるものを除く。）で、その集団の存する土地の面積がおおむね 500 m ² 以上で面的なつながりのある緑地
	基本構想	市の将来像及び基本的な理念を示すもの
	狭あい道路	幅員 4m 未満の道路
	緊急輸送道路	震災時における避難、救急消火活動、緊急物資の輸送及び復旧復興活動を支えるため、高速自動車国道、一般国道及びこれらを連絡する幹線的な道路並びにこれらの道路と都知事及び市長が指定する拠点（指定拠点）とを連絡し又は指定拠点を相互に連絡する道路
	グリーンインフラ	自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方を基本とした取組
	グリーンスローモビリティ	時速 20 km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両を含めた総称
	広域避難場所	火災が広範囲に及んだ時、熱、煙及び有毒ガスなどから身を守る、延焼の危険のない場所
	公共交通不便地域	鉄道駅から 500m（新小金井駅は 300m）以遠の地域又は運行本数が片道 20 便/日以上バス停留所から 300m 以遠の地域
	高齢者農園	高齢者の趣味活動を援助するため、市が農家から農地を借り、農園として整備し、60 歳以上の市民の皆様に区画を貸すもの
	コージェネレーションシステム	2つのエネルギーを同時に生産し供給するしくみ。発電装置を使って電気をつくり、次に、発電時に排出される熱を回収して、給湯及び暖房などに利用する「熱電供給システム」などがある。
	小金井市コミュニティバス（CoCoバス）	市内の公共交通不便地域を解消し、市民の誰もが利用しやすい日常的な移動手段として、安全で快適なバスサービス。「小」金井市の「Co」、「コ」コミュニティバスの「Co」、「こころ」＝「CoCo ろ」の通うバスという意味
	小金井市まちづくり条例	まちづくりの仕組み、都市計画の手続、建築協定及び開発事業などに伴う手続を定めることにより、安心して暮らせる活力に満ちたまちづくりの実現に寄与することを目的とし、制定された条例

	用語	解説
か 行	国土強靱化 地域計画	強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災などに資する国土強靱化基本法に基づく、地域の国土強靱化に関する施策の推進に関する基本的な計画。国土強靱化とは、大規模自然災害などに備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を計画的に実施し、強靱な地域づくりを推進するもの
	国分寺崖線 (はけ)	湧水が多く、野鳥及び小動物の生活空間として貴重な自然地である、多摩川が南へ流れを変える過程で武蔵野台地を削り取ってきた、河岸段丘の連なり
	国分寺崖線 緑地保全地域	東京における自然の保護と回復に関する条例に基づく制度。指定を受けた保全地域は、相続などの発生により地形の改変などが予測される土地を優先的に東京都が取得している。
	コミュニティ・ スクール(学校 運営協議会制 度)	学校運営協議会を設置した学校。学校、保護者及び地域が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組み
さ 行	再生アスファルト 混合物	一度舗装され、その後経年劣化などで撤去されたものを破碎し、添加剤などを混合して十分な性状として製造された再生骨材を使用したアスファルト混合物のこと
	市街化区域	無秩序な市街化を防止し、計画的な市街化を図るため必要があるときに定める区域区分のうち、既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域
	市街地開発事業	エリア内で公共施設整備及び宅地開発を総合的な計画に基づき一体的に行う事業。以下の6種類を都市計画法では、市街地開発事業としている。 1. 土地区画整理事業、2. 新住宅市街地開発事業、3. 工業団地造成事業、4. 市街地再開発事業、5. 新都市基盤整備事業、6. 住宅街区整備事業
	市街地 再開発事業	都市再開発法に基づき、細分化された土地を統合し、建築物及び公共施設とを一体的に整備することにより、住宅、店舗及び工場などが混在して環境の悪化した市街地における土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的とする事業
	自然再生事業	過去に損なわれた自然環境を取り戻すため、関係行政機関、関係地方公共団体、地域住民、NPO及び専門家などの地域の多様な主体が参加して、自然環境の保全、再生及び創出などを行うこと。特に、自然再生法に基づき、自然再生地区に指定されて進められる事業
	指定管理者制度	公の施設の管理・運営を、民間事業者などの団体に行ってもらうことにより、市民サービスの向上及び経費節減などを図る制度
	自転車 シェアリング	一定の地域内に複数配置されたサイクルポートにおいて自由に貸出・返却できる貸し自転車
	自転車 ナビマーク	自転車が通行すべき部分及び進行すべき方向を明示するもの
	市民協働支援 センター (仮称)	市民活動団体及び行政との協働支援、協働事業の情報発信、市民活動団体と行政及び市民活動団体相互間の協働ネットワークの形成支援などの業務を行う。
	市民農園	農業に親しめるよう、市が農家から農地を借り、農園として整備し、市民の皆様に区画を貸すもの
	浸透トレンチ	側面に浸透孔を設けたもの又は有孔性の材料で造られたもので、その周囲を砕石などで覆い集水した雨水を地中に浸透させる施設
	新防火区域	東京都建築安全条例の規定に基づく防火規制を行う区域。原則として、指定された地域の全ての建築物は準耐火建築物又は耐火建築物などとし、延べ面積が500㎡を超えるものは耐火建築物などとしなければならない。この規制により、更新時において、木造住宅などは少なくとも準耐火建築物などへの建替えが誘導される。

小金井市都市計画マスタープラン

	用語	解説
さ 行	準防火地域	都市計画法に基づく地域地区の1つで、主として防火地域の外側において、建築物の構造を制限することによって不燃化を図り、市街地における火災の危険を防除するために指定される。原則として、延べ面積が500㎡を超えるものは準耐火建築物又は耐火建築物などとし、延べ面積が1,500㎡を超えるものは耐火建築物などとしなければならない。
	生産緑地	生産緑地法に基づき、都市農地の計画的な保全を図るため、市街化区域内の農地で、良好な生活環境の確保に効用があり、公共施設などの敷地として適している農地を都市計画に定めたもの。建築行為などを許可制により規制する。市街化区域内農地は宅地と同等の課税がされるのに対し、生産緑地は軽減措置が講じられる。
	生活圈	日用品を購入するスーパー及びコンビニなど身近な生活関連サービスが提供され、地域コミュニティが形成される生活の土台としている圏域
	ゼロエミッション東京	東京都が気温上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2050年までに、世界のCO2排出実質ゼロの実現を目指すもの
	ソーシャルメディア	インターネットを利用して誰でも手軽に情報を発信し、相互のやりとりができる双方向のメディアであり、代表的なものとして、Facebook及びTwitterなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、YouTube及びニコニコ動画などの動画共有サイト、LINEなどのメッセージングアプリがある。
た 行	体験型市民農園	園主（農家）の指導のもと、種まき及び苗の植え付けから収穫まで体験できる、農家が開設する農園
	賃借制度（生産緑地）	都市農地の賃借の円滑化に関する法律に基づき、民間企業などに生産緑地を貸し出ししやすくなり、新規就農者などへの農地の賃借及び民営の体験農園設置など、多様な主体の参画による農地の活用が可能になった。
	地域危険度	東京都震災対策条例に基づき、おおむね5年おきに実施している「地震に関する地域危険度測定調査」において測定し、公表している指標。地震に起因する危険性を町丁目ごとに測定し、危険度の度合いを5つのランクに分けて相対的に評価している。指標は、建物倒壊危険度、火災危険度、それらに災害時活動の困難さを加味した総合危険度がある。
	地域包括ケアシステム	地域の実情に応じて、高齢者が、可能な限り、住み慣れた地域でその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制
	地区まちづくり計画	地区内の市民が主体となってまちづくりを推進しようとする規則に定める一定のまとまりをもった区域を対象とし、地区の特性をいかした住み良いまちづくりを推進することを目的に、土地利用などに関する計画を定めたもの
	テレワーク	ICT（情報通信技術）を利用し、時間及び場所を有効に活用できる柔軟な働き方
	東京ゼロエミ住宅	東京都が独自に定めた、高い断熱性能を持った断熱材及び窓を用いたり、高い省エネ性能を有する家電製品などを取り入れた住宅
	特定生産緑地制度	生産緑地の指定告示から30年経過する日までに、生産緑地の所有者などの意向を基に、区市町村が特定生産緑地に指定することで、買取りの申出が可能となる期日が10年延期されるとともに、生産緑地で適用を受けていた税制優遇などの措置が継続される。
	特別緑地保全地区	都市における良好な自然的環境となる緑地において、建築行為など一定の行為の制限などにより現状保全する制度
	都市計画区域マスタープラン	都市計画法第6条の2に基づく、広域的見地からの都市計画の基本的な方針を定めたもの
	都市計画審議会	都市計画を定めるときに、都市計画法第77条の2に基づき、都市計画を調査審議する機関
	都市計画道路	都市計画法において定められた都市施設の1つで、自動車専用道路、幹線街路、区画街路、特殊街路の4種類がある。

	用語	解説
た 行	都市計画 マスタープラン	都市計画法第18条の2に基づくもので、長期的視点に立った都市の将来像を明確にし、その実現に向けて大きな道筋を明らかにするもので、地方公共団体が策定する計画
	都市緑地法	都市における緑地の保全や緑化の推進に関し、必要なことを定めることにより、良好な都市環境の形成を図り、健康で文化的な都市生活を確保することを目的に定められた法
	土砂災害 警戒区域	急傾斜地の崩壊などが発生した場合に、住民などの生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域
	土砂災害 特別警戒区域	土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ住民などの生命又は身体に著しい危険が生じるおそれがある区域
	土地区画整理事業	土地区画整理法に基づき、公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るために行われる事業。道路、公園など公共施設用地を生み出すために土地の所有者から土地の一部を提供してもらい、宅地の形を整えて再配置する。
な 行	ニューノーマル	新たな日常及び新たな生活様式
	農工大・多摩小 金井ベンチャー ポート	独立行政法人中小企業基盤整備機構が東京都及び小金井市から要請を受け、東京農工大学と連携し、同大学の小金井キャンパス内に整備・運営を行う大学連携型起業家育成（インキュベーション）施設
	農地を有し、防災 性の維持・向上を 図るべき地域	防災都市づくり推進計画（東京都）において、農地を有し、将来、無秩序に宅地化された場合に防災性が低下するおそれがあるとされた地域。町丁目を対象としている。
	農商・農福・農 学	農商連携：農林漁業者と商(工)業者が通常の商取引関係を越えて協力し、お互いの強みをいかして新商品・サービスの開発・生産を行い、需要の開拓を行うこと 農福連携：障がいのある方や高齢者などが農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組 農学連携：学問としての農学との連携のみならず、大学などの教育機関や学生、また、学びにつながる様々な取組と農に関する分野との連携
は 行	パーソナル モビリティ	自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両
	ハザードマップ	いざという時の避難場所及び避難所の場所などを地図で示すとともに、市民が備えておくべきことなど、防災情報について掲載しているマップ
	バリアフリー	障がいのある人及び高齢者などに対する障壁（バリア）を取り除くこと及びそうした考え方
	ヒートアイランド 現象	都市の中心部の気温が郊外に比べて島状に高くなる現象
	東小金井事業 創造センター (KO-TO)	市が設置した公共の創業支援施設。個室、ブース及びシェアスペースをシェアオフィスとして利用でき、法人登記及び会議室の利用が可能
	避難行動 要支援者	高齢者、要介護認定者、重度の障がい者及び難病患者などのうち、災害が発生し又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な方であって、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する方
	避難所	災害により家屋が被害を受け、居住ができないと判断した場合に避難して生活する場所
	フィーダー交通	バスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港において、地域をまたがる幹線交通ネットワークと接続する交通
	風致地区	良好な自然的景観を形成している区域のうち、土地利用計画、都市環境の保全を図るため風致の維持が必要な区域について定めるもの
	不燃化の状況や住宅の 密度が木造住宅密集地 域と同等である地域	防災都市づくり推進計画（東京都）において、木造住宅密集地域ではないものの、補正不燃領域率及び住宅戸数密度が木造住宅密集地域と同等であるとされた地域。町丁目を対象としている。

小金井市都市計画マスタープラン

	用語	解説
は 行	防火地域	都市計画法に基づく地域地区の1つで、主として商業地など建築物の密集している市街地中心部において、建築物の構造を制限することによって不燃化を図り、市街地における火災の危険を防除するために指定される。原則として、指定された地域の全ての建築物は準耐火建築物又は耐火建築物などとし、延べ面積が100㎡を超えるものは耐火建築物などとしなければならない。
	防災都市づくり推進計画	東京都震災対策条例第13条の規定に基づき、震災を予防し、震災時の被害拡大を防ぐため、主に、延焼遮断帯の形成、緊急輸送道路の機能確保、安全で良質な市街地の形成及び避難場所などの確保など、都市構造の改善に関する諸施策を推進することを目的として東京都が定める計画
ま 行	保全緑地制度	里地・里山など都市近郊の比較的大規模な緑地において、比較的緩やかな行為の規制により、一定の土地利用との調和を図りながら保全する制度
	木造住宅密集地域	防災都市づくり推進計画（東京都）において、震災時に延焼被害のおそれのある老朽木造住宅が密集しているとされた地域。町丁目を対象としている。
	モビリティ・ハブ	様々な交通モードの接続・乗り換え拠点
や 行	ユニバーサルデザイン	障がいの有無、年齢、性別、身体などの特性及び違いを超えて、あらかじめ、できるだけ多くの人々が利用できることを目指して設計すること及びそうした考え方
	用途地域	都市計画法に基づき、都市地域の土地利用の合理的な利用を図り、市街地環境の整備、都市機能の向上を目的として、建築物の用途や容積などを規制する制度
ら 行	連続立体交差事業	都市を分断している鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することにより、多数の踏切を除却し、踏切での事故及び交通渋滞の解消、道路交通の円滑化、市街地の一体的発展を図るために行われる都市計画事業。鉄道にとっても安全性が増大するなどの効果がある。
	レッドデータブック	レッドリスト（日本に生息又は生育する野生生物について、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を評価し、絶滅のおそれのある種を選定し、リストにまとめたもの）に記載された種について生息状況などを取りまとめ編纂したもの
A～Z	DX（デジタルトランスフォーメーション）	行政においては、行政サービスにデジタル技術及びデータを活用して、市民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術及びAIなどの活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上につなげていくこと
	H E M S（ホーム・エネルギー・マネジメント・システム）	電力使用量の可視化及び機器制御など、家庭内のエネルギー管理を一元的に行うシステム
	ICT（インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー）	コンピュータを使った情報処理及び通信技術の総称をいう。ICTはIT（情報技術）にコミュニケーションの要素を含めたもの
	M a a S（モビリティ・アズ・ア・サービス）	複数の公共交通及びそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済などを一括で行うサービスであり、観光及び医療などの目的地における交通以外のサービスなどとの連携により、移動の利便性向上及び地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの
	Z E H（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）	外皮の断熱性能などを大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅
1～10	2050年カーボンニュートラル	2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すこと
	3R	ごみになるものを元から減らすReduce（リデュース）、使えるものを再使用するReuse（リユース）、資源として再生利用するRecycle（リサイクル）の総称

SDGsとは

SDGsは、17のゴール・169のターゲットから構成されており、経済・社会・環境の側面からバランスが取れ統合された形で達成することとしています。

日本では、平成28（2016）年12月に、国において「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が決定され、基礎自治体に対してSDGsの達成に向けた取組が求められ、平成29（2017）年には地方創生にSDGs達成の観点を取り入れるという考え方が示されました。

目標1(貧困)		目標10(不平等)	
 1 貧困をなくそう	あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる。	 10 人の間の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標2(飢餓)		目標11(持続可能な都市)	
 2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食糧安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を目指す。	 11 包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。	
目標3(保健)		目標12(持続可能な消費と生産)	
 3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。	 12 つくる責任 つかう責任	持続可能な消費生産形態を確保する。
目標4(教育)		目標13(気候変動)	
 4 質の高い教育をみんなに	全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。	 13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標5(ジェンダー)		目標14(海洋資源)	
 5 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う。		 14 海の豊かさを保たせよう	持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標6(水・衛生)		目標15(陸上資源)	
 6 安全な水とトイレを世界中に	全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。	 15 陸の豊かさも保たせよう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標7(エネルギー)		目標16(平和)	
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。	 16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々の司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標8(経済成長と雇用)		目標17(実施手段)	
 8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する。	 17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。
目標9(インフラ、産業化、イノベーション)			
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。		

小金井市 都市計画マスタープラン
令和4（2022）年8月

発行 小金井市 都市整備部 都市計画課

〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号

Tel：042-387-9859 Fax：042-386-2619

<https://www.city.koganei.lg.jp>



つながる「人・みどり・まち」
～暮らしたい 暮らし続けたい 優しさあふれる 小金井～